

SHIZUOKA

J · O · U · R · N · A · L

Vol. 27 No. 2 2017 (通巻200号)

目 次

巻頭言 「進化していますか」	組織理事(西部) 竹田 守	1
会告	第23回 静岡県放射線技師学会	2
	・演題募集	
	・演題区分表	
	・演題申込用紙	
	第4回業務拡大に伴う統一講習会(中部)(12/3, 10)	5
	第11回医療安全セミナー(12/9)	6
	第16回静岡県マンモグラフィ撮影技術講習会(12/9~10)	7
	新春公開講演会(1/13)	8
	第26回オール祭(1/13)	9
	第34回放射線技師のためのセミナー(1/20)	10
	第5回業務拡大に伴う統一講習会(東部)(1/21, 28)	11
	第59回東海四県放射線技師学会(静岡)(2/4)	12
	第3回静岡県デジタルマンモグラフィ講習会(2/11)	13
	第72回超音波部会研修会(2/24)	14
	第49回アンギオ部会研修会/第8回静岡県MRI技術研究会 /平成29年度静岡県放射線技師研修会(3/17)	15
報告	第70回超音波部会研修会(6/10)	16
	第32回放射線技師のためのセミナー(6/24)	17
	平成29年度第2回業務拡大に伴う統一講習会(7/1, 2)	18
	第38回静岡ふれあい広場(9/10)	19
	第29回乳腺画像部会 第1回ワークライフバランス検討委員会 合同研修会(9/30)	21
学術論文	第70回超音波部会研修会(6/10)	23
	第71回超音波部会研修会(10/14)	27
メッセージボード		35
本会の歩み		38
会員動静		39
本会への寄贈図書		40
議事録 平成29年度 第2回理事会議事録(8/26)		41
行事予定カレンダー		63



『進化していますか』

(公社) 静岡県放射線技師会 理事 (組織・西部) 竹田 守



1. 「巻頭言」を書く

巻頭言の原稿依頼を受け、巻頭言について調べてみました。巻頭言とは“書籍・雑誌などの最初に書く言葉や文章”などと定義されていますが、何かざっくりとしていますね。「しずおかジャーナル」の巻頭言をどのように書くべきか考えましたが、堅苦しくならず自由に思いを述べさせていただきます。

2. まず放射線検査機器の進化

私が放射線技師として職に就いてから、放射線検査機器は大きな進化を遂げてきました。特にCTの進化は著しく、私の施設で就職当時に稼働していた県内初のホールボディCTの性能は、頭部1スライスを40秒、腹部1スライス20秒を掛けて撮影していました。それまで横断面像は回転横断撮影装置により撮影されていましたが、とても不鮮明な画像（私も残されたフィルムを見ましたが）でしたので、その当時はすさまじい進歩だったのだと思います。しかし35年後に私の施設で稼働している256列CTは全脳を1回転・1秒で撮影してしまいます。その進歩を数値化すると、全脳撮影に40秒×8スライス=320秒掛かっていた検査が1秒で撮影可能になったわけですので320倍の進化になります。画像処理技術も含めると何倍の進化になるのでしょうか。

そのほか、MRI・放射線治療なども大きく進化していますが、単純X線撮影の進化を忘れてはいけないと思います。私が最初に使

用したシステムはフィルム・増感紙システムでした。若い方はあまり見たことのない暗室があり、撮影後暗室にてフィルム交換・自動現像機に流す作業をしていました。ある時、明室にて自動でフィルム交換・現像ができる装置が登場し、なんと便利なものができたのだらうと思ったことを覚えています。続いてCRシステム・FPDシステムと移り変わり、画像処理も大きく進化し低線量・高画質になりました。35年前にグリッド無しで散乱線を除去できるアプリが使用できるなんて予測できたでしょうか。単純X線撮影の進化も、決してCTに負けていないように思えます。このように私たちが使用している放射線機器の進化はすばらしいですね。

3. 静岡県放射線技師会も

私が静岡県放射線技師会の仕事に携わり3年半が過ぎようとしています。この頃、静岡県内の放射線技師のみなさまが県技師会をどのように感じているのかを考えています。県技師会は職能団体であり、専門性の維持・向上や、専門職としての待遇や利益を保持・改善するための団体であります。

活動についてわかりにくい部分もありますが、先輩の方々が進化させてきた県技師会を、みなさまの参加・協力により活気ある会とし、更なる進化を遂げられるよう、よろしく願いいたします。

放射線検査機器の進化に負けないように。

会 告

『第23回 静岡県放射線技師学術大会』 演題募集

平成30年5月27日（日）に、第7回（公社）静岡県放射線技師会定時総会及び第23回静岡県放射線技師学術大会を開催いたします。

開催にあたり、本学術大会において研究発表演題を下記により募集いたしますので、多数の演題をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

記

【日 時】 平成30年5月27日（日）

【会 場】 ふじのくに千本松フォーラム「プラサ ヴェルデ」

〒410-0801 静岡県沼津市大手町1-1-4

TEL：055-920-4100（代表）

【発表形式】 ① 口述発表 発表時間7分 討論3分

② 液晶プロジェクターを使用したPCプレゼンテーション

（Windows用Microsoft Office Power Point 2016）で再生します。

【発表資格】 発表者および共同発表者は、平成29年度会費完納の会員および賛助会員に限り
ます。会費未納者を含む演題申し込みはできませんのでご注意ください。

【応募方法】 静放技ホームページ（<http://shizuhogi.jp>）より演題申込書をダウンロードし
てください。必要事項を記入したうえで、電子メールに添付し、件名に「演題
申込」と明記して下記アドレスまで送信してください。

演題申込メールアドレス：endai.entry@shizuhogi.jp

【受理通知】 演題受理の通知を、申込みメールアドレスに返信します。申込み後7日を経過
しても通知のない場合は、通信トラブル等考えられますので、お問い合わせせ
ください。なお、演題採用者には後日抄録集の作成に協力いただきます。

【締め切り】 平成30年1月21日（日）必着

【お問い合わせ】

静岡市葵区本通1丁目3-5 フェリス本通り202

（公社）静岡県放射線技師会 TEL 054-251-5954

FAX 054-251-9690

演 題 区 分 表

演題主区分	区分番号	区 分 内 容
X 線 撮 影	A	単純・造影・断層撮影技術 アンギオ・DSA・CR・DF撮影技術 機器、補助具、品質管理 感光材料、画像評価 造影剤、画像評価、臨床応用、その他
X 線 C T	B	CT撮影・処理技術 機器、補助具、品質管理 造影剤、画像評価、臨床応用、その他
M R I	C	MRI撮影・処理技術 機器、補助具、品質管理 造影剤、画像評価、臨床応用、その他
核 医 学	D	インビトロ（試料測定一般） インビボ（体外測定一般） 機器、画像処理技術、品質管理 放射性医薬品、臨床応用、その他
放 射 線 治 療	E	治療計画・照合・計測、照射技術 機器、補助具、品質管理 ラジオサージェリー、小線源照射、温熱療法 その他
超 音 波	F	検査技術一般、臨床応用 機器、品質管理、その他
そ の 他 の 検 査	G	骨塩定量検査・機器 体外衝撃波結石破碎装置 眼底撮影、その他
放 射 線 管 理	H	放射線管理一般、法令 被曝防護、特性・遮蔽計算、その他
画 像 情 報	I	フィルム特性、現像機、レーザーイメージャー 画像解析、画像評価、画像処理技術 PACS、画像通信・保存、インターネット その他
情 報 管 理 ・ 運 営	J	業務統計処理、診療報酬 オーダリングシステム、その他
ペーシェントケア	K	

平成 年 月 日

第 23 回 静岡県放射線技師学術大会

演題申込用紙 平成 30 年 1 月 21 日 (日) 必着

演題名 (区分番号)	() 演題区分表参照		
	所属施設・部署	会員番号(必須)	氏名(フリガナ)
発表者			
共同発表者			
演題予稿 原稿 (300字程度に おまとめくだ さい)			
代表者連絡先	氏名		
	住所 〒		
	所属		
	TEL (内線)	FAX	
E-mail			
通信欄			

※ご記入内容は予稿集の作成データとなります。お間違えございませんようお願いいたします。

送付先 E-MAIL : endai.entry@shizuhogi.jp TEL : 054-251-5954

会 告

『平成29年度 第4回業務拡大に伴う統一講習会』

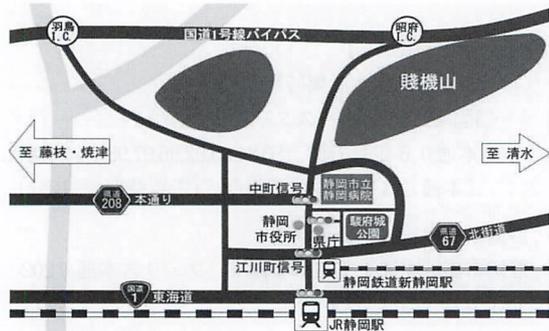
診療放射線技師法が2014年6月18日に一部改正が行われました。具体的にはCT・MRI検査等での自動注入器による造影剤の注入、造影剤注入後の針の抜針と止血、下部消化管検査の実施（ネラトンチューブ挿入を含めて）、画像誘導放射線治療時、腸内ガスの吸引のためのチューブ挿入と診療放射線技師の業務内容が拡大されました。以上の業務を行うための絶対条件として、医療の安全を担保することが求められています。そのため、日本診療放射線技師会では業務拡大に伴う必要な知識、技能、態度を習得することを目標とした講習会を2日間にわたり実施することとしました。静岡県では下記の通り開催いたします。

記

- 【日 時】 平成29年12月3日(日曜)、12月10日(日曜)
【場 所】 静岡市立静岡病院 西館12F 講堂
〒420-8630 静岡市葵区追手町10番93号
【受 講 料】 会員：15,000円 非会員：60,000円
【お申し込み】 日本診療放射線技師会ホームページ、JART 情報システム内のメニュー「生涯学習」イベント参加申込みから申込み下さい。(受付開始10月3日～)
(JART 情報システムは会員、非会員を問わず登録可能です。)

【内 容】

1日目 12月3日	2日目 12月10日
9:00～9:15 受付	9:00～9:15 受付
9:15～9:20 開講式	9:15～9:20 開講式
9:20～10:10 下部消化管 DVD放映	9:20～10:10 静脈注射 DVD放映
10:10～11:00 下部消化管 DVD放映	10:10～11:00 静脈注射 DVD放映
11:00～11:10 休憩	11:00～11:10 休憩
11:10～12:00 下部消化管 DVD放映	11:10～12:00 静脈注射 DVD放映
12:00～12:40 昼休憩	12:00～12:40 昼休憩
12:40～13:30 下部消化管 DVD放映	12:40～13:30 静脈注射 実習
13:30～14:20 法改正 DVD放映	13:30～14:20 下部消化管 実習
14:20～14:30 休憩	14:20～14:30 休憩
14:30～15:20 IGRT DVD放映	14:30～15:20 IGRT 実習
15:20～16:10 IGRT DVD放映	15:20～15:30 休憩
16:10～16:20 休憩	15:30～16:30 BLS 実習
16:20～17:10 IGRT DVD放映	16:30～17:20 確認試験



【JR静岡駅から】

徒 歩 15分
バ ス 7分
タクシー 5分

駐車場（有料）はありますが、なるべく公共交通機関を利用してお越しください。

生涯教育委員

会 告

『第11回 医療安全セミナー開催について』

10年くらい前にJART・JSRT・JIRAの3団体合同プロジェクト班で策定された「放射線業務の安全の質管理マニュアル」というのを御存じでしょうか？医療安全確保のためのチェック項目や想定される事故と事例およびその対策など各検査に対しての医療安全対策が網羅するマニュアルでした。

今回、その内容が10年振りに改訂となりましたのでその報告と、各部会が考える医療安全対策の発表があります。医療安全に対して様々な視点から考えるきっかけになればと思っております。

皆様のご参加をお待ちしています。

記

【日 時】 2017年12月9日(土曜日) 15時00分～

【場 所】 静岡県放射線技師会事務所
〒420-0064 静岡市葵区本通り 1-3-5 フェリス本通202号

【参加費】 無料

【内 容】

14：30～15：00 受付

15：00～16：00 報告「放射線業務の安全の質管理マニュアル改訂について」
演者：日本診療放射線技師会 医療安全推進委員長 山本英雄

16：00～17：00 部会発表「各部会が考える医療安全について (I/A事例など)」

- ・管理士部会 (放射線管理) 根岸賢哉 会員
- ・アンギオ部会 (IVR) 松井隆之 会員
- ・MRI部会 (MRI) 有谷 航 会員
- ・超音波部会 (エコー) 玉田宏一 会員

静岡県放射線技師会事務所におきましては、無料の駐車場は用意しておりません。

参加者は、有料の駐車場をご利用頂くか、公共の交通機関をご利用してご参加ください。



【JR静岡駅から】

- ・ 駅から徒歩 (所要時間：20分)
- ・ 静岡駅北口、バスターミナルから、本通り6丁目方面 (80,84,85,92,96,97,98) に乗車し、「本通り3丁目」にて下車。(所要時間：10分)

静岡県放射線技師会事務所

静岡市葵区本通1丁目3番地5 フェリス本通り202

TEL 054 (251) 5954

会 告

『第16回静岡県マンモグラフィ撮影技術講習会 開催案内』

静岡県放射線技師会は、特定非営利活動法人 日本乳がん検診精度管理中央機構（以下、精中機構）と共催し、下記の通り『第16回静岡県マンモグラフィ撮影技術講習会』を開催いたします。

記

【日 時】 平成29年12月 9日(土)～10日(日)

【場 所】 聖隷三方原病院



【参加費】 30,000円（税込）：日本放射線技師会、静岡県放射線技師会の会員
（年会費未納者はこれに該当しません）

35,000円（税込）：非技師会員

【内 容】 日本乳がん検診精度管理中央機構の講習会プログラムに準ずる

- 全体講義 マンモグラフィの基礎（物理・撮影技術・被曝）
マンモグラム読影の基礎とカテゴリー分類・乳癌の病理と臨床
マンモグラフィのポジショニングと接遇
- グループ実習 読影実習・ポジショニング・臨床画像評価
線量線質・機器管理・画像管理・画像形成
NPO 法人日本乳がん検診精度管理中央機構による試験および評価を行う
- 個人評価試験 読影試験・筆記試験・臨床画像評価

※受講申し込みは定数に達したため締め切られました。

※詳細は技師会ホームページのトピックスよりご確認下さい。

会 告

新春公開講演会開催

新春公開講演会を下記の通り開催致します。

公開講演では骨密度について、ご講演していただきます。県民の皆様のお役にたつことができますよう私たち技師も初心に立ち返り勉強したいと思います。公開講演会では、骨密度の検査でどのようなことがわかるのかについて学習します。教育講演では、医療被ばくについて学習します。

現場では患者から放射線による医療被ばくについて質問されることが多々あると思います。そんなとき、患者が求めていることにできるだけ的確に答えられるよう学んでいきたいと思います。

つきましては、ご家族やご近所様、職場の方など皆様お誘い合わせの上、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。講演会終了後、懇親会を兼ねアール祭を開催いたします。新年のご挨拶の場、親睦を深める場としてご参加いただきますようご案内申し上げます。

記

【日 時】 平成30年1月13日(土) 13:30~16:30

【会 場】 静岡商工会議所静岡事務所会館 5F ホール

〒420-0851 静岡市葵区黒金町20-8 Tel: 054-253-5111

※ご来場の際は、できる限り公共交通機関をご利用ください。

【参加費】 無料

【内 容】

13:30~ 受付

13:55~14:00 会長挨拶

14:00~15:00 公開講演

『骨密度検査~この検査で何がわかりますか~ (仮題)』

講師: 中東遠総合医療センター

院長補佐兼整形外科診療部長 浦崎 哲哉 先生

座長: 中東遠総合医療センター 中山 修 会員

15:00~15:15 休憩

15:15~16:15 教育講演

『医療被ばくについて

~患者から被ばくについて聞かれ的確に答えられますか~ (仮題)』

講師: 地方独立行政法人桑名市総合医療センター桑名西医療センター

大井 慎也 先生

座長: 市立島田市民病院 池谷 正治 会員

※引き続き親睦会(アール祭)が開催されます。

詳細につきましては別紙会告にてご確認ください。

*技師会員はIDカードをご持参ください。

会 告

第26回アール祭開催

新春公開講演会終了後、第26回アール祭を開催いたします。
新年のご挨拶の場、親睦を深める場としてご参加くださいますようお願い申し上げます。

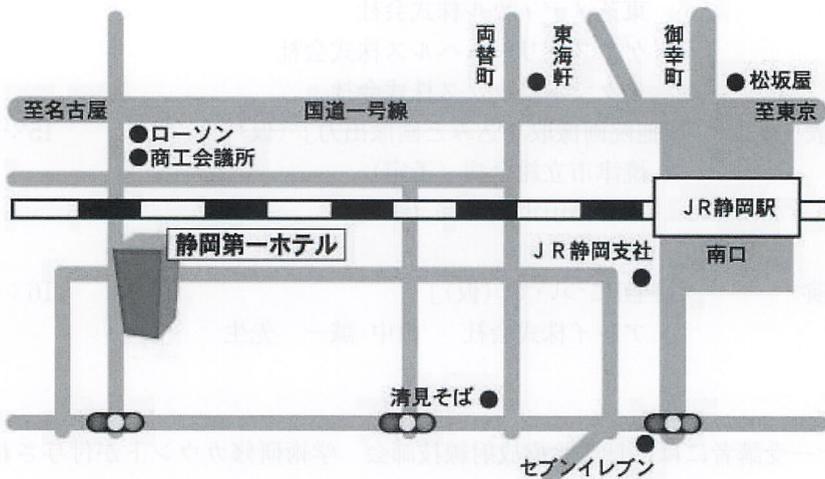
記

【日 時】 平成30年 1月13日(土) 17:00～

【会 場】 静岡第一ホテル 2階 富士の間
〒422-8066 静岡県静岡市駿河区泉町 1-21
TEL 054-281-2131

【内 容】 第26回アール祭（新春祝賀会）並びに叙勲祝賀会

【会 費】 正会員 5,000円
賛助会員 5,000円



会 告

『第34回放射線技師のためのセミナー開催のご案内』

管理士部会では、第34回放射線技師のためのセミナーを下記の通り予定いたします。

今回は「画像管理」をテーマとしました。可搬型医用画像（PDI）の運用には各施設苦慮されている部分もあるかと思えます。あるいは、全く技師が携わっていない施設もあります。

昨年9月には関連団体から「患者紹介等に付随する医用画像についての合意事項」も示されていますので、PDIについてさらに知識を深めていただく機会になればと考えております。皆様の御参加をお待ちしております。

記

【日 時】 平成30年1月20日(土)
13:30~17:30 (受付:13:00~)

【場 所】 静岡県放射線技師会事務所
静岡市葵区本通1丁目3番地5
フェリス本通り202号

【参加費】 1,000円

【内 容】

- | | | |
|-----------|--|-------------|
| 1. 最新技術講演 | 「PACSの最新技術」
東芝メディカル株式会社
ケアストリームヘルス株式会社
テクマトリックス株式会社 | 13:30~15:10 |
| 2. 会員発表 | 「他院画像取り込みと画像出力」(仮)
焼津市立総合病(予定)
市立島田市民病院(予定) | 15:10~16:05 |
| 休憩10分 | | |
| 3. 特別講演 | 「PDIについて(仮)」
アレイ株式会社 山中 誠一 先生 | 16:15~17:15 |



セミナー受講者には、日本診療放射線技師会 学術研修カウントが付与されます

以上

会 告

『平成29年度 第5回業務拡大に伴う統一講習会』

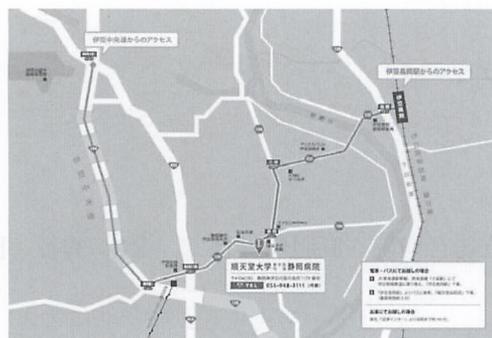
診療放射線技師法が2014年6月18日に一部改正が行われました。具体的にはCT・MRI検査等での自動注入器による造影剤の注入、造影剤注入後の針の抜針と止血、下部消化管検査の実施（ネラトンチューブ挿入を含めて）、画像誘導放射線治療時、腸内ガスの吸引のためのチューブ挿入と診療放射線技師の業務内容が拡大されました。以上の業務を行うための絶対条件として、医療の安全を担保することが求められています。そのため、日本診療放射線技師会では業務拡大に伴う必要な知識、技能、態度を習得することを目標とした講習会を2日間にわたり実施することとしました。静岡県では下記の通り開催いたします。

記

- 【日 時】 平成30年1月21日（日曜）、1月28日（日曜）
【場 所】 順天堂大学医学部附属静岡病院 大会議室
〒410-2295 静岡県伊豆の国市長岡1129番地
【受 講 料】 会員：15,000円 非会員：60,000円
【お申し込み】 日本診療放射線技師会ホームページ、JART 情報システム内のメニュー「生涯学習」イベント参加申込みから申込み下さい。（受付開始11月21日～）
（JART 情報システムは会員、非会員を問わず登録可能です。）

【内 容】

1日目 1月21日	2日目 1月28日
9：00～9：15 受付	9：00～9：15 受付
9：15～9：20 開講式	9：15～9：20 開講式
9：20～10：10 下部消化管 DVD放映	9：20～10：10 静脈注射 DVD放映
10：10～11：00 下部消化管 DVD放映	10：10～11：00 静脈注射 DVD放映
11：00～11：10 休憩	11：00～11：10 休憩
11：10～12：00 下部消化管 DVD放映	11：10～12：00 静脈注射 DVD放映
12：00～12：40 昼休憩	12：00～12：40 昼休憩
12：40～13：30 下部消化管 DVD放映	12：40～13：30 静脈注射 実習
13：30～14：20 法改正 DVD放映	13：30～14：20 下部消化管 実習
14：20～14：30 休憩	14：20～14：30 休憩
14：30～15：20 IGRT DVD放映	14：30～15：20 IGRT 実習
15：20～16：10 IGRT DVD放映	15：20～15：30 休憩
16：10～16：20 休憩	15：30～16：30 BLS 実習
16：20～17：10 IGRT DVD放映	16：30～17：20 確認試験



生涯教育委員

会 告

『第59回東海四県放射線技師学術大会(静岡)』

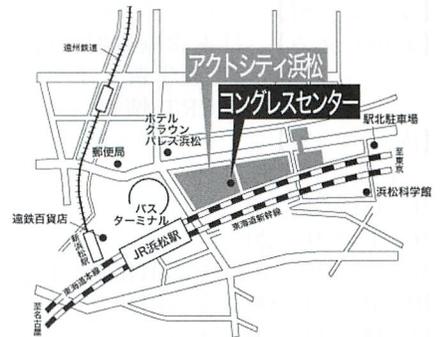
第59回東海四県放射線技師学術大会を、アクトシティコンgresセンターにて開催いたします。

今回のテーマは、『臍腫瘍に迫る ～画像診断からのアプローチ～』と題して、様々な角度から臍腫瘍について学んでいきたいと考えております。

皆様お誘い合わせの上、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

- 【日 時】 平成30年2月4日(日)
【場 所】 アクトシティ コンgresセンター 4階
【参加費】 会 員 1,000円
非会員 2,000円
学 生 500円(学生証提示)
【共 催】 東海四県放射線技師会／第一三共株式会社
【内 容】



- 9:30 当番県挨拶
9:40 講演1
1. 臍の画像診断 県立総合病院 大川 剛史 会員
2. 臍臓の病理 県立こども病院 坂根 潤一 先生 (臨床検査技師)
10:50 特別講演
仮題「DWI BS検査について」
東海大学工学部医用生体工学科 高原 太郎 教授
12:00 ランチョンセミナー
仮題「抗がん剤について」
13:10 シンポジウム
「早期臍腫瘍への画像診断からのアプローチ」
CT・MRI・US・PET
14:50 教育講演
「胆嚢、臍臓の外科治療」
県立総合病院 肝胆臍外科 金本 秀行 医師
16:00 次期当番県挨拶

会 告

『第3回静岡県デジタルマンモグラフィ講習会』 (第59回デジタルマンモグラフィ品質管理講習会) 開催案内

昨年度に引き続き、デジタルマンモグラフィ品質管理講習会を開催致します。

NPO法人日本乳がん検診精度管理中央機構の全面協力のもと、今年度も開催させていただきます。受講困難な状況が全国的に発生している講習会ですので、まだ受講の機会を持っていない方（撮影技術認定を取得していること）には是非この機会の受講をお勧めいたします。

また、この品質管理講習会の翌日には医師のソフトコピー診断講習会も同会場にて開催いたしますので、自施設でまだ受講経験のない読影医（読影認定を取得していること）がいらっしゃいましたら、是非受講をお勧めください。

ソフトコピー施設画像認定を取得する際の申し込み条件として、この講習会の受講が必須となりますことを合わせてご案内いたします。

多くの方の受講申し込みをお待ちしております。

【日 時】 平成30年2月11日(日) 8:30～

【場 所】 中東遠総合医療センター 3階大会議室
静岡県掛川市菖蒲ヶ池1-1

【対 象】 医師、診療放射線技師 39名
*必ず撮影技術認定を取得していること
(県内施設に勤務されている方が優先となります)

【申し込み方法】 NPO法人日本乳がん検診精度管理中央機構HPより

申し込み開始：11月13日(月)午後～12月11日(月)午前 締め切り予定

*申し込み詳細につきましては後日決定次第技師会HPにて通知致します。

(参考)

平成30年2月12日(月・祝) 開催予定

第131回デジタルマンモグラフィソフトコピー診断講習会(医師用)

中東遠総合医療センターにて

会 告

『第72回 超音波部会研修会開催について』

下記の通り、第72回超音波部会研修会を行います。

今回は、体表疾患をテーマとして研修会を行います。超音波検査に於いて、体表の疾患が注目されています。その分野は得意では無いという方にとっても参考になるはずです。同僚やお友達をお誘いの上、どうぞご参加ください。

記

【日 時】 平成30年2月24日(土) 14:00～

【場 所】 静岡赤十字病院 3号館2階 研修室
静岡県静岡市葵区追手町8-2 Tel 054-254-4311

【参加費】 1,000円

【内 容】 13:30 受付開始

14:00～14:30

メーカー講演 『最新の超音波診断装置』
東芝メディカルシステムズ(株)

14:30～15:00

教育講演 『血管診療技師について』
静岡済生会総合病院 大嶽 友宏 会員

15:10～16:10

教育講演 『小児の甲状腺について』(仮称)
静岡県立こども病院 藤下 真澄 先生

16:20～17:20

特別講演 『体表疾患の超音波検査』
刈谷総合病院 今田 秀尚 先生

* 研修会終了後、講師の先生を囲んで、懇親会を開催致します。(別途会費有り)
懇親会に出席を希望される方は、下記のメールアドレスまで事前に御連絡ください。
E-mail: shizuhogi_us@yahoo.co.jp (2月20日締め切り)

【主 催】 公益社団法人 静岡県放射線技師会 超音波部会

【共 催】 静岡市超音波研究会、東芝メディカルシステムズ(株)
一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会 (後援依頼中)

会 告

『第49回アンギオ部会研修会・第8回静岡県MRI技術研究会 平成29年度 静岡県放射線技師研修会』

今年度のテーマは「心臓領域における はじめの一步」と題して、CT、MRI、Angio、RI、USに関する内容を初学者にも解りやすい形で行いたいと思います。

また前年同様、安藤先生に一般撮影「膝関節撮影」についての講演をお願いしました。

記

【日 時】 平成30年 3月17日 (土) 10:20~17:00 (受付開始10:00~)

【場 所】 ベガサート6F B-nest プレゼンテーションルーム

【参加費】 1,000円

【内 容】 10:00~ 受付開始

10:30~12:10 会員発表「各モダリティーにおける心臓検査の特徴」

CT : 沼津市立病院 岡藤 康明

MR : 調整中

US : 藤枝市立総合病院 溝口 賢哉

Angio: 聖隷浜松病院 松井 隆之

RI : 富士宮市立病院 小林 邦和

12:20~13:20 ランチョンセミナー (共催メーカー情報提供)

心臓領域における最新技術 (CT、MRI等) (フィリップス株式会社)

13:40~14:00 共催メーカー情報提供 (バイエル薬品株式会社)

14:00~14:40 会員発表 「症例報告」

: 調整中

: 調整中

14:50~15:50 特別講演 「虚血性心疾患の診断から治療 (仮)」

静岡市立静岡病院 循環器内科医長 影山 茂貴 先生

16:00~17:00 教育講演 「膝関節撮影」

奈良県立医科大学附属病院 中央放射線部副技師長 安藤 英次 先生

- 本会は
- ・日本磁気共鳴専門技術者認定機構により、磁気共鳴専門技術者更新点数5単位
 - ・日本血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師認定機構の認定講習会の認定を受けております。
 - ・日本救急撮影認定機構の認定講習会
 - ・CT認定技師更新点数単位 は申請中です。

共 催 : 静岡県放射線技師会企画調査委員会、静岡県放射線技師会アンギオ部会、
静岡県放射線技師会MRI部会
バイエル薬品株式会社、フィリップス株式会社

第70回超音波部会研修会 報告

平成29年6月10日(土)
静岡赤十字病院

平成29年6月10日(土)に静岡赤十字病院にて、第70回超音波部会研修会が開催されました。今回は肝臓をテーマに研修会が行われました。

メーカー講演では株式会社日立製作所の太田様より『最新の超音波診断装置』について講演をいただきました。ARIETTA 850では、Real-time Tissue Elastographyにおいて計測に適したエラストグラフィ像を自動的に選択したり、ROIの設定を自動的に行うAutomated Measurementという機能があり、術者による測定の際のばらつきが少なくなるようになっています。

次に教育講演として『肝臓のCT画像について』、富士市立中央病院の澤口信孝会員に講演していただきました。肝臓の基本的な解剖や区域分類から始まり、ダイナミックCTまで解説がありました。CTでは肝臓の大きさや形態、腫瘍の有無等を評価します。そして、造影剤を注入後に連続して撮像を行うダイナミックCTでは、腫瘍性病変の血流動態を評価します。腫瘍によって造影剤で染まるタイミングが異なり、例えば肝細胞癌では動脈相で強く染まり、門脈相、平行相では抜け、血管腫では辺縁から徐々に染まるなどの違いが見られ、鑑別に役立ちます。

もうひとつの教育講演は『肝臓MRIの基本』と題して、静岡済生会総合病院の山崎敬之会員より講演をいただきました。まずMRIの基本的な原理、そしてT1強調画像、T2強調画像、拡散強調画像などがそれぞれどんなものなのかを簡単に説明していただきました。つぎに肝臓の様々な疾患についての簡単な説明と、MRIにおいてそれぞれのシーケンスで、どのように見えるかを解説していただきました。例えば肝膿瘍ではT1強調画像で低信号、T2強調画像では周囲が高信号、拡散強調画像では高信号、造影すると辺縁が染まります。また、肝臓の線維化の度合いを画像化するMR Elastographyに関しても動画を用いて紹介がありました。

最後に特別講演として藤田保健衛生大学 臨床検査部の西川徹先生より、『肝臓～スクリーニングから腫瘍診断まで～』と題して講演をいただきました。まずエコー検査を始める前に血液データを参照することにより、どこに異常が出ているかを予測します。ASTやALTの上昇は肝細胞壊死、ビリルビンの異常は胆汁うっ滞、アルブミン・コリンエステラーゼの異常は肝細胞の合成障害によるものだということをふまえて検査に取りかかります。そして各種疾患の特徴となる超音波所見を知っておくことが重要です。例えば急性肝炎では、肝臓の腫大、実質エコーレベルの低下、肝内脈管の末梢枝の描出が見られます。重症例では胆のう壁肥厚が出てくるなど、肝臓が働いておらず胆汁が作られていないことを示しています。

腫瘍性病変においては境界、辺縁、形状、内部エコーを評価します。疾患によって特有のサインもあります。例えば肝臓の辺縁に存在する腫瘍では表面に突出している(Hump Sign)ものは肝細胞癌で多くみられ、辺縁が陥凹しているものは癌腫と呼ばれ、転移性肝癌や肝内胆管癌で見られます。

今回の研修会では超音波検査だけでなく、CTやMRIの肝臓の画像も解説していただきました。普段携わっていないモダリティの画像の見方を知ることができ、超音波検査を施行する際や検査後の経過を追跡するのに役立つと感じました。



超音波部会 前島 由佳

第32回放射線技師のためのセミナー 報告

平成29年6月24日(土)
静岡県放射線技師会事務所

平成29年6月24日(土)静岡県放射線技師会事務所にてセミナーを開催した。参加者は、54名(会員51名、非会員1名、学生2名)であった。今回のテーマは「一般撮影のポジショニングの工夫と撮影補助具」でメーカー講演では「一般撮影の最新技術」の内容で3社から講演を頂いた。

コニカミノルタジャパンからは、AeroDR「One Shot長尺システム」と新画像処理「REALISM」が紹介された。長尺システムは14×17或は17×17パネル3枚の組み合わせにより、1回曝射で撮影が可能であり、大幅にスループットが向上した。新しい結合処理により、パネル位置による拡大率の差を補正している。REALISMはダイナミックレンジ圧縮、周波数協調、ノイズ抑制を改良することで実現した新しい画像処理である。頸椎や胸腰椎撮影などに有効である。

富士フィルムメディカルからは、Dynamic Visualization II処理を中心に講演された。画像認識技術から、人工物・骨・軟部などを認識し、最適な処理を行っている。この為以前より白とび、黒つぶれの少ない画像が得られるようになった。

大林製作所からは、長尺撮影台LL-LEADER、汎用型万能握り棒Shuttle、カセットホルダーのSatellite、PLESIOが紹介された。いずれも撮影補助具として非常に優れており、撮影を安心・安全に行えるように設計されている。Satellite・PLESIOは、患者だけでなく技師の被ばく低減にも役立つと感じた。

会員発表として3施設の会員から発表があった。各施設のポジショニングの工夫や撮影補助具の使用状況について発表された。聖隷三方原病院の中村陽子会員からは、8種類の補助具について紹介があった。膝の撮影に使用するものや、骨盤計測用の補助具はよく考えられて工夫されていると感じた。

市立島田市民病院の鈴木邦幸会員からは、小児胸部撮影に使用する補助具について報告があった。

昭和から使われているこの補助具は、丈夫でポジショニングの再現性もよく、4か月以上の乳児にも使用できるとのことだった。患児を座らせて撮影することで安全に撮影できるように工夫されていた。

沼津市立病院の大原明会員からは、TKA術後の膝関節撮影ポジショニングの工夫について発表された。経過観察目的の撮影ではインプラントのルーズニングを観察するには高い精度と再現性が必要であり、スタッフ全員が同じように撮影できるような資料を作成し、情報を共有しているということだった。

特別講演では、細貝実先生が「魔法のような一般撮影補助具の開発」として、先生自身が開発に取り組んだ補助具である“すけっと”について講演された。素材としては患者にも優しく、画像への映り込みも少ない独立気泡ポリエチレンフォームが適している。また、補助具を使用した撮影方法について解説があった。再撮影の多いスカプラY撮影や膝関節の立位側面撮影などは、簡単に撮影できるコツを伝授していただいた。

一般撮影の補助具でも、使い方によって誰でも簡単に精度・再現性の良い撮影ができることを学んだ講演だった。



管理士部会 根岸賢哉

平成29年度第2回業務拡大に伴う統一講習会 報告

平成29年7月1、2日
静岡県立総合病院

平成29年7月1、2日の2日間にわたり、静岡県立総合病院つつじホールにおいて、平成29年度第2回業務拡大に伴う統一講習会を開催しました。

診療放射線技師法が2014年6月18日に一部改正が行われました。具体的にはCT・MRI検査等での自動注入器による造影剤の注入、造影剤注入後の針の抜針と止血、下部消化管検査の実施（ネラトンチューブ挿入を含めて）、画像誘導放射線治療時、腸内ガスの吸引のためのチューブ挿入と診療放射線技師の業務内容が拡大されました。以上の業務を行うための絶対条件として、医療の安全を担保することが求められています。そのため、日本診療放射線技師会が主催し、各県で業務拡大に伴う必要な知識、技能、態度を習得することを目標とした講習会を2日間にわたり実施しました。受講生は35名でした。

講義はDVDを放映する形式で行いました。1日目は、下部消化管検査を「患者の心理と接遇」、「肛門及び直腸を含む下部消化管に関する解剖」、「バリウム、水溶性造影剤の薬理と造影剤および空気の注入法」、「感染管理及び医療安全対策」の4コマ。法改正は「診療放射線技師法に関する法的知識及びその責任範囲、医療倫理」の1コマ。IGRTは「放射線治療における接遇、及び感染管理・医療安全対策」、「骨盤内臓器に関する解剖」、「骨盤内臓器がんに対するIGRT」の3コマを各講義50分行い、1日目は終了となりました。

2日目の午前中は静脈抜針を「薬剤に関する知識」、「合併症への対応」、「静脈注射と感染管理」の3コマを各講義50分行いました。

午後からはシミュレーターを用いた静脈抜針、下部消化管、IGRT、BLSの実習に入りました。4名の実習指導者のもと、4つの班に分かれ各実習を行いました。

静脈抜針の実習では抜針する役、患者の役、チェックする役を各人が担いました。実習中はその都度、講師からのチェックが入りその場で指導を受け、患者役からは難解な質問を受けるなど、シミュレーション通りに終えないので受講生に

としては刺激がある実習になりました。

下部消化管検査の実習では10分程度の実習手順DVDを見てから、講師からのデモンストレーションが行われました。その後、順次手順に沿って各人が実習を行いました。IGRTも同様の手順で実習が行われました。次にBLSの実習を行いました。BLSはほとんどの会員が既に講習を受けているので、スムーズに実習が進みました。最後に講師から総評をいただき実習を終了としました。その後、確認試験を行い2日間の講習会は終了となりました。

業務拡大に伴う行為を診療放射線技師が実施するか否かはそれぞれの施設の考え方によります。いつ何時、実施するように依頼されても良いように準備しておくことがこの講習会に参加する意義だと思います。この講習会をベースに、更に各施設において教育、研修を行い安全、安心な医療を提供するようお願いしたいと思います。

第4回目は12月3、10日に静岡市立静岡病院で、第5回目は1月21、28日に順天堂静岡病院にて開催予定です。皆様のご参加、お待ちしております。



生涯教育委員 曾我隆正

第38回 静岡ふれあい広場 参加報告

(支えあい みんなでつながる 地域の福祉)

平成29年9月10日(日)
静岡市葵区 青葉シンボルロード

毎年恒例の静岡市社会福祉協議会が主催する「第38回静岡ふれあい広場」に、昨年に続き静岡県放射線技師会も参加いたしました。

ふれあい広場は、毎年60近い福祉団体・ボランティアグループ等が協力する社会福祉啓発イベントです。

静岡市社会福祉協議会も、毎年成果を上げていく本会のイベントに対する期待も高く、優先的にブースを確保して頂き、さらに昨年より人通りの多い両替町通りに面した場所へ移動し、テントも横置きに2張りとかかなり目立つようになりました。

本会は、日本診療放射線技師会の定める「レントゲン週間」の一環として放射線の専門家である診療放射線技師が医療における放射線の管理者として、正しい知識を皆様にお伝えすると共に、医療現場における私達の業務内容を広く知って頂くため、「ふれあい広場」に参加して今年で19回目となりました。

活動内容として、腹部超音波無料体験、超音波骨密度検査無料体験、乳がん検診自己触診のすすめ、医療被ばく相談を通して、イベントでは放射線を使用することはできませんが、来場された県民の皆様とふれあう事により、検診や検査に興味をもって頂き、放射線を診療放射線技師が適切な管理と使用によって、県民の皆様の健康に貢献していることを少しでも理解して頂く事が本会の目的であります。

さて、予報では天気は晴れて涼しくなるとの事で期待いたしましたが、当日は日差しも強く炎天下となり体力勝負となりました。

午前8時30分に集合、段取り良く準備に取り掛かり開会式を待つばかりとなりました。開会式中にもかかわらず、当会ブースにはすぐに人が押し寄せ、若干フライング気味にスタート。



準備完了 やる気満々笑顔で待機



ブース内はすぐに満員

例年開始時は、ブースの中の様子を伺いながら徐々に来場者が増えていくのですが、今年は躊躇なく積極的に検査を体験してみようと受付に並んで頂いた県民の皆様の姿が印象的でした。



骨密度測定中、測定結果にドキドキ

骨密度は大盛況で、検査結果を皆様が笑顔で聞いていました。

根岸管理士部会長より「過去のふれあい広場で骨密度低下を指摘され近医を受診するように勧められました。その後精密検査を受け、骨密度低下がわかり薬を飲み続けて、今では年齢相当より良い状態になっています。」との感謝の言葉を頂いたと、うれしい報告を受けました。



暗幕内は汗だく状態

超音波体験も、開会から閉会まで絶え間なく体験者が訪れました。



乳がん検診のすすめ
技師会所有の乳腺モデルが初登場

乳がん検診のすすめでは、乳腺モデルを使用し、熱心に指導していました。



医療被ばく相談中

医療被ばく相談コーナーでは、複数回受けたX線検査の被ばくに対する不安からの相談が多く見

受けられましたが、医療安全推進委員の丁寧な説明をうけ皆様安心された様子でブースを後にされました。

活動して頂いた、各部会・委員会、中部地区会の会員の皆様ありがとうございました。ふれあい広場を通じてこうした公益事業が県民の皆様に行わっている事を改めて感じる事ができました。

ブースを訪れた延べ人数 535名

—内訳—

・腹部超音波検査無料体験	176名
・骨密度検査無料体験	230名
・乳がんの検診『自己触診のすすめ』	104名
・医療被ばく相談	25名

技師会会員27名(敬称略)

中部地区会

樽松文孝	鈴木邦幸
廣澤和美	宿島久志
山崎敬之	棚橋祐子
野寄 哲	

超音波部会

玉田宏一	早坂みさを
前島由佳	

管理士部会

根岸賢哉	勝浦拓也
池谷正治	澤元日出也
瀧井達志	増田光浩
坂元慎介	鈴木康太
糟谷信貴	

乳腺画像部会

竹山有希	平野裕子
------	------

医療安全推進委員会

田沢範康	和田由香
------	------

一般会員

野口伸弘	杉山大介(編集委員)
------	------------

中部副会長 松本恭徳

常任理事 愛甲泰久

賛助会員

東芝メディカルシステムズ株式会社
株式会社日立製作所ヘルスケア

協力

日本光電南関東株式会社

(広報理事 愛甲泰久)

第29回 乳腺画像部会研修会／第1回 ワークライフバランス検討委員会 合同研修会 報告

平成29年9月30日(土)
浜松労災病院 6階大会議室

第29回乳腺画像部会研修会 報告

平成29年9月30日に浜松労災病院にて、第29回乳腺画像部会研修会を開催いたしました。参加者人数は48名（会員35名、非会員13名）でした。

【内容】

【特別講演】

『実録！マンモグラフィのポジショニング見せます』

日本乳がん検診精度管理中央機構

井本 厚志先生

【実習】

『ポジショニング実習』

『画像を用いたポジショニング解説』



特別講演では、マンモグラフィで最も重要となる『広い範囲を広げて撮影をする』ためのポジショニングを解説していただきました。より良いマンモグラフィを撮影するためのポジショニングをたくさん動画を用いて大変わかりやすい内容でした。ポジショニングの行為1つ1つに意味があり、ポジショニングの良し悪しが診断の精度に繋がることを実感しました。



その後のポジショニング実習では実機、ポジショニング用ファントムを用いて、参加者同士でポジショニングをし合いました。実際にポジショニングを行うことで、より一層の理解が深まったと感じます。

また、他の人のポジショニングを見ることや受診者役を体験することで、自身の普段の問題点等が分かるいい機会になったのではないかと思います。



画像を用いたポジショニングの解説ではポジショニングが異なる症例を提示し、ポジショニングが違うだけでマンモグラフィが如何に違ってくるかを実感でき、また改善点を丁寧に解説していただきました。

最後に研修会開催に関して、ご尽力いただいた井本先生、会場を提供していただいた浜松労災病院の皆様、参加者の皆様ありがとうございます。

乳腺画像部会 部会員
中東遠総合医療センター 竹山 有希

第1回ワークライフバランス検討委員会 報告

今回「多様な働き方」をテーマに、はじめてのワークショップを行いました。乳腺画像部会との合同開催ということで、女性技師の皆さんが多く参加してくださいました。

特に女性はライフステージの変化に応じ、働き方について考える機会があると思います。いざその時、働き方の選択肢の一つとして参考になるのでは？ということで、2名の経験者の体験談をお話いただきました。

『ライフスタイルに合わせて働く』

神谷美恵子さん

『育児とキャリアアップの両立』

斉藤 忍さん

神谷さんは家庭に重点を置くスタンスで、現在は5件のアルバイトを掛け持ちしながら働かれています。また、斉藤さんは子育てをしながらひとつの職場で働き続け、現在は役職として活躍されています。お二人ともご自身の経歴から、メリットデメリットを包み隠さずお話いただきました。



その後、4つのテーマを用意し、ご自身の興味あるテーマでざっくばらんにお話していただく形でグループワークを実施しました。

- ・「ライフスタイルに合わせて働く」
- ・「キャリアアップ」
- ・「スペシャリストを目指す」
- ・「働きやすい職場って？」

初めての試みで戸惑いを感じている部分もありましたが、他施設の勤務状況や良い点、悪い点を聞く機会はあまりない為、参加者はとても興味を持って意見交換をされていました。施設規模や年齢層、男女比などバラバラであっても自施設でも取り組めることや、自身の行動に取り入れられる部分があれば是非実践していただければと思います。

ご参加いただきました皆様に簡単なアンケートにご協力いただきましたが、ワークライフバランス検討委員会の認知度は21% (28名中6名) でした。しかし、「このような機会があればまた参加したい」とのご意見は89% (28名中25名) と、興味を持っていただけたことがわかりました。今後は、女性だけでなく、様々な年齢層、立場の皆様へニーズに合わせた情報発信や意見交換の場を提供できますよう、アンテナを高く活動してまいります。



* 託児所を設置しました！今後各種勉強会で設置予定*

ワークライフバランス検討委員会 委員長
聖隷予防検診センター 疋野奈央子

肝臓MRI読影の基本

静岡済生会総合病院 山崎 敬之

1. MRIとは

MRIとは、核磁気共鳴画像のことである。磁気と電波を利用して身体内の状態を断面として画像化したものである。

撮影に使う装置は、大きなトンネル状のガントリーと可動式の寝台で、ガントリーの内部は強力な磁場になっている。内部に大きな電磁石がある筒のような装置で、仰向けに寝た身体を寝台ごとガントリーの中に入れて撮影を行う。

人体には、弱い磁気をおびた水素原子核が無数に存在している。人体を強力な磁場を持つガントリーの中に入れて一定の周波数の電波を当てると、体内の水素原子核が振動し、当てられた周波数と同じ電波を放出する。この現象が、核磁気共鳴である(図1)。MRIは、この電波を利用して「どの組織の、どこから出された電波か」という位置情報を得て、その情報をコンピュータによって画像化したものである。

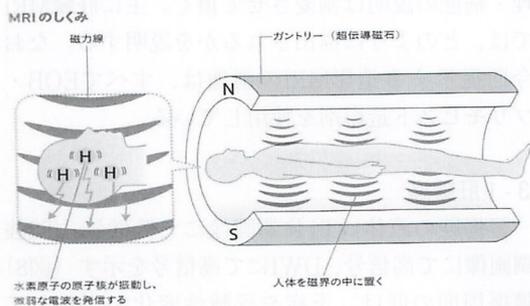


図1 MRIのしくみ

2. MRIシーケンス

MRIには、多くのシーケンスがある。それを目的疾患により色々と組み合わせて検査を行う。その中で、今回は肝臓で使用するシーケンスの特徴を説明する。原理については割愛させて頂く。

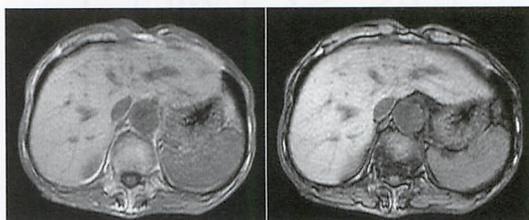
2-1 T1強調画像の特徴

T1強調画像では、T1値が長い組織は低信号に、

T1値が短い組織は高信号に描出される。すなわち、脊髄液や筋肉が低信号に、脂肪が最も高信号に描出される。

2-1-1 位相コントラスト画像の特徴

GRE法を利用すると、水と脂肪の足し算の画像である同位相 (in phase) 像と、両者の引き算の画像である逆位相 (opposed phase) 像が撮像できる(図2)。これらは、T1強調画像として撮像されることが多く、両者の信号強度を比較することで脂肪沈着の有無を確認することができる。

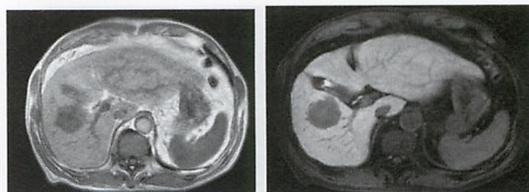


in phase 像 opposed phase 像

図2 位相コントラスト画像

2-1-2 脂肪抑制T1強調画像の特徴

共鳴周波数の違いを利用して脂肪の信号を抑制し、水からの信号だけで画像を撮像することができる。造影後は、脂肪抑制T1強調画像を撮影する。これはMRI造影剤のT1短縮作用を利用し、脂肪抑制を行うことで疾患をより検出しやすくする(図3)。



T1強調画像 脂肪抑制T1強調画像

図3 T1強調画像と脂肪抑制T1強調画像

2-2 T2 強調画像の特徴

T2強調画像では、T2値が長い組織は高信号に、短い組織は低信号に描出される。したがって、T2値が長い脊髄液は著名な高信号に、腎臓や脾臓も高信号に描出される。一方、肝臓や脾臓は腎臓や脾臓に比べて軽度高信号を示し、筋肉は明らかな低信号に描出される。

2-2-1 Heavy T2 強調画像の特徴

Heavy T2強調画像とは、T2強調画像のエコー時間 (TE) をさらに長くしたタイミングで、信号を収集したものである (図4)。すなわち、T2 値の長い組織がより強調されて描出される (図5)。

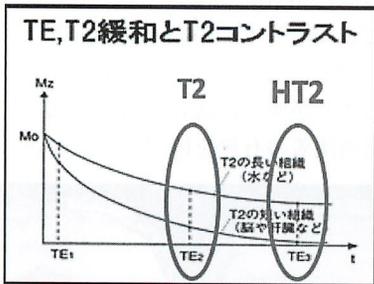


図4 T2強調画像とHeavy T2強調画像のコントラスト



図5 Heavy T2 強調画像

Heavy T2強調画像は、肝血管腫と肝嚢胞の鑑別のために使用することが多い。図6よりHeavy T2強調画像では、肝嚢胞は高信号、肝血管腫は肝臓と等信号に描出される (図6)。

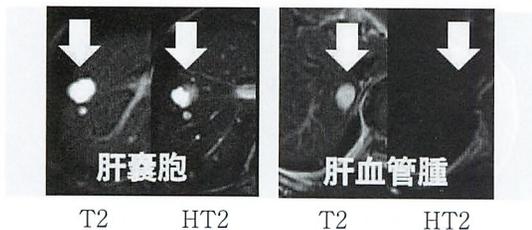


図6 肝嚢胞 (左図) と肝血管腫 (右図)

2-3 拡散強調画像 (DWI)

拡散強調画像 (以下DWI) は、水分子の拡散運動を画像化したものである。拡散が激しい部分は低信号、拡散が低下した部分は高信号に描出される。

DWIは疾患の良悪性鑑別に非常に重要な撮像法である (図7)。図7より、b値0の画像では、肝細胞癌、肝嚢胞の鑑別をすることはできない。一方、b値1000の画像では肝細胞癌は高信号、肝嚢胞は低~等信号となり、良悪性を鑑別することができる。

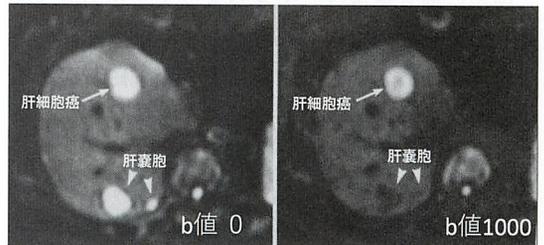


図7 DWIによる良悪性鑑別

3. 肝疾患

肝臓には様々な疾患が存在するが、今回は臨床でよくみられる疾患をPick Upして説明する。できるだけ多くの疾患を掲載するために、疾患の病理・病態の説明は割愛させて頂く。主に肝臓MRIでは、どのように描出されるかを説明する。なお、今回提示する造影MRIの画像は、すべてEOB・プリモビスト造影剤を使用している。

3-1 肝膿瘍

膿瘍腔の液体はT1強調画像にて低信号、T2強調画像にて高信号、DWIにて高信号を示す (図8)。膿瘍周囲の肝は、炎症や浮腫性変化を反映してT2強調画像で高信号を示す場合もある。

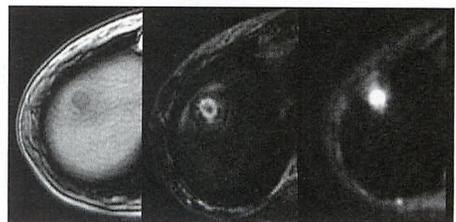


図8 T1 脂肪抑制 T2 強調画像 DWI

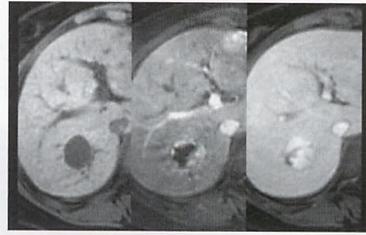
図8 肝膿瘍の信号変化

造影MRIでは、膿瘍腔は増強効果を認めない。さらに、膿瘍壁を示す帯状濃染の周囲に、浮腫性変化を反映した所見を認める (double target sign) (図9)。



図9 double target sign

造影MRIでは、動脈相で腫瘤辺縁部に結節状濃染 (peripheral enhancement) を認め、徐々に中心部に濃染が広がり (filling-in phenomenon)、後期相でも濃染が持続する (図12)。

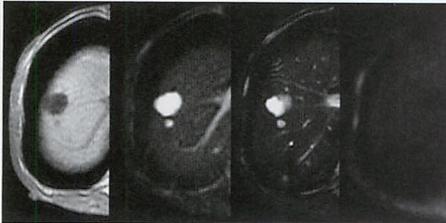


造影前 早期相 後期相

図12 肝血管腫の造影効果

3-2 肝嚢胞

simple cystは、T1強調画像で低信号、T2強調画像で著名な高信号となる。さらに、Heavy T2強調画像で高信号、DWIで肝臓と等信号で描出される (図10)。造影MRIでは、通常は濃染を認めない。



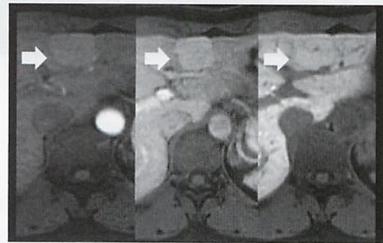
T1 脂肪抑制 T2 Heavy T2 DWI

図10 肝嚢胞の信号変化

3-4 限局性結節性過形成 (FNH)

限局性結節性過形成 (FNH) は、T1強調画像で低信号～等信号、T2強調画像で等～高信号を呈するが、腫瘤内に脂肪沈着を伴う場合にはT1強調画像で高信号となる。中心癍痕は、T1強調画像でより低信号、T2強調画像ではより高信号に描出される (図14)。

造影MRIでは、動脈相で濃染、門脈～平衡相で周囲肝実質とほぼ同等の造影効果を示す。肝細胞相では、肝細胞の過形成を反映して、中心癍痕を除いた部分は等～高信号となる (図13)。

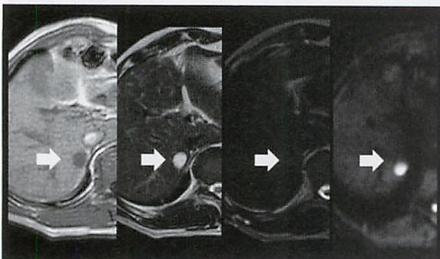


動脈相 平衡相 肝細胞相

図13 FNHの造影効果

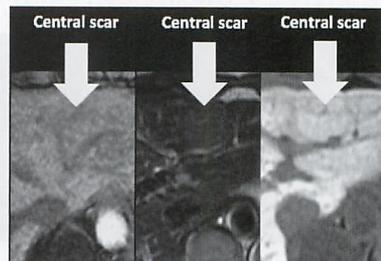
3-3 肝血管腫

肝血管腫はT1強調画像で低信号、T2強調画像で著名な高信号となる。さらに、Heavy T2強調画像で肝臓と等信号、DWIで高信号に描出される (図11)。



T1 脂肪抑制 T2 Heavy T2 DWI

図11 肝血管腫の信号変化



Central scar Central scar Central scar
T1 T2 造影MRI(肝細胞相)

図14 中心癍痕の信号変化

3-5 肝硬変

肝硬変は、肝表面の凸凹不整、右葉の萎縮と左葉外側区域の腫大による肝の変形に加え、門脈側副血行路の発達がみられる（図15）。EOB-MRIの肝細胞相を観察することで診断しやすい。また、MRエラストグラフィという新たな手法で、肝の線維化の早期診断が試みられている（図16）。

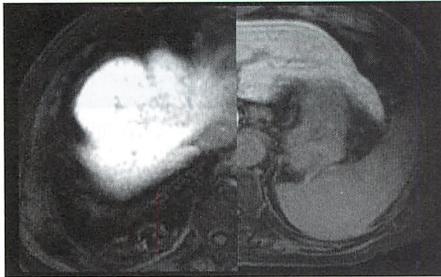


図15 肝表面の凸凹不整 左葉外側区域の腫大&脾腫

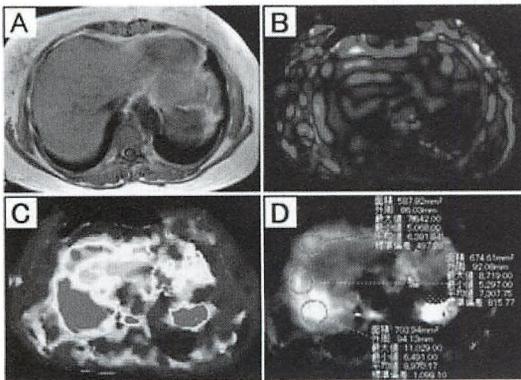
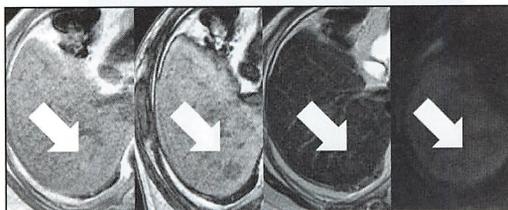


図16 MRエラストグラフィ

3-6 高分化型肝細胞癌・早期肝細胞癌

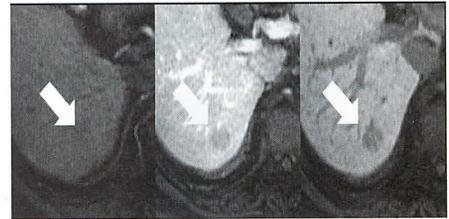
高分化型肝細胞癌は脂肪を含むことが多い。そのため、In-phase画像、opposed phase画像では高/低あるいは等/低を呈する。T2強調画像では低～等信号、DWIでも低～等信号となり、高分化型肝細胞癌はほとんど描出できない（図17）。



In-phase opposed phase T2 DWI

図17 高分化型肝細胞癌の信号変化

高分化型肝細胞癌は門脈に支配され、乏血性の腫瘍である。そのため、造影MRIでは、動脈相で濃染が低いか濃染されないことが多い。肝細胞相では、低信号に描出されることが多い（図18）。

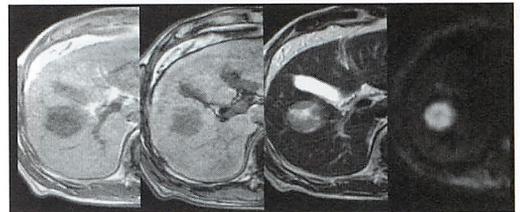


動脈相 平衡相 肝細胞相

図18 高分化型肝細胞癌の造影効果

3-7 中分化・低分化型肝細胞癌

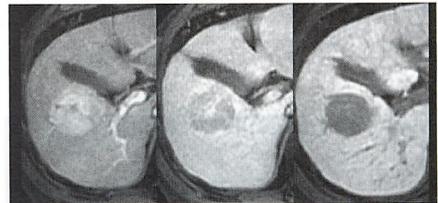
中分化・低分化肝細胞癌は、T1強調画像で低～等信号、T2強調画像で高信号に描出される。DWIでは分化度を反映して高信号となる（図19）。



In-phase opposed phase T2 DWI

図19 中分化・低分化型肝細胞癌の信号変化

中分化・低分化型肝細胞癌は動脈に支配され、多血性の腫瘍である。そのため、造影MRIでは動脈相で濃染され、平衡相でWash Outされる。肝細胞相では、低信号に描出される（図20）。



動脈相 平衡相 肝細胞相

図20 中分化・低分化型肝細胞癌の造影効果

4. 終わりに

今回は、臨床でよくみられる疾患をPick Upしました。今回の講義が、皆様の臨床の手助けとなれば幸いです。

腎血管筋脂肪腫切迫破裂の一例

市立島田市民病院 診療放射線室 福島 知之

腎血管筋脂肪腫はちよくちよくエコー検査で遭遇する腎疾患である。今回、エコー検査で自然破裂一步手前の切迫破裂を経験したので若干の考察を加えて報告する。

【症 例】 59歳 女性

【主 訴】 左腹部腫瘍と圧痛

【既往歴】 胆石症と腎血管筋脂肪腫を18年ほど前に当院で指摘されたが、その後のフォローアップ無し。

【現病歴】 2015年11月29日、車を運転中に急に腰背部正中の痛みを自覚。この時は30分で治まった。12月1日に37.8℃の微熱出現。また、心窩部が押される感じを自覚した。翌日、左腹部の腫瘍と圧痛に気が付き、12月7日近医受診。腹部エコーを施行したところ、左腎内に腫瘍が見られるということで当院を紹介された。

【当院での超音波所見】 左腎上極に外部に突出するような長径10cmの腫瘍を認めた。高エコーと低エコーが混在し、円形の無エコー部分の存在も認めた。カラードプラでは、無エコー部分には血流信号を認め、血流波形は拍動波であった。(実は半年前にエコーをしており、今回検査では内部エコーの変化が顕著であった)

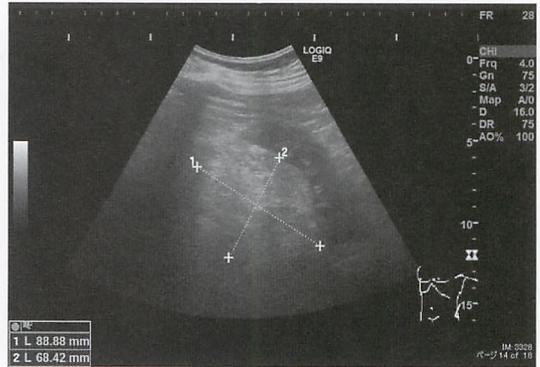
【CT所見】 左腎上極に12×9×9cmの腫瘍を認めた。内部に豊富な脂肪成分が見られ、軟部組織と血管成分を含んでいた。被膜外に液体貯留を認め、腎血管筋脂肪腫の切迫破裂が疑われた。

【左腎血管造影所見】 左上極枝が栄養血管であることを確認。つづいて、左腎動脈塞栓術(内側枝と外側枝をゼラチン注入で塞栓後、マイクロコイルを留置)を施行した。

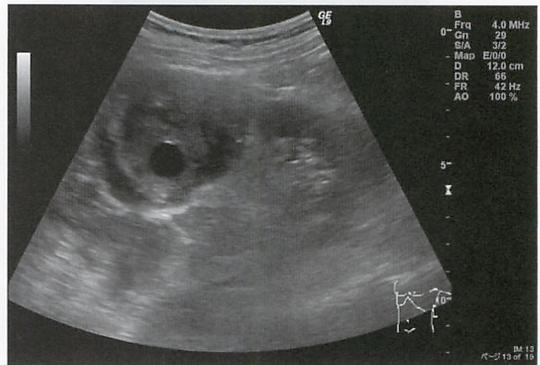
【考 察】 腎血管筋脂肪腫 (AML: angiomyolipoma) は一般には腫瘍径4cm以上、または腫瘍に生じた動脈瘤の径が5mm以上で治療の対象となる。今回、当院エコー室で腫瘍径10cmで5mm以上の動脈瘤を認めたため、CTを施行するように報告書に記載し、外来に依頼した。

その結果、切迫破裂の状態で、腎動脈塞栓術を行うことが出来た。約半年でAMLのエコー画像の変化が顕著に表れた一例だった。

【結 語】 今回、急な腰背部痛と腫瘍触知で来院されたAML切迫破裂の一例を報告した。Rupture手前での迅速な診断と治療が必要で、経過観察中の直径4cm以上のAMLに対してはエコー画像の変化を確実に捉え、CTまたはMRIを依頼することによって確定診断を得られると考えられた。



6月17日 (半年前の超音波画像)



12月8日 (今回の超音波画像)

胆石イレウスの1例

菊川市立総合病院 放射線科 鴨川 真也

患者背景（既往歴・現病歴等）

【既往歴】

子宮癌、陳旧性心筋梗塞、両下肢リンパ浮腫、蜂窩織炎、膀胱炎、膀胱皮膚婁・尿路感染症にて当院にて通院中

【主 訴】

蜂窩織炎にて入院中に悪心・嘔吐・右側腹部痛あり

【身体所見】

腹部平坦で硬く、右下腹部に圧痛+、反跳痛-

【血液データ】

白血球 7090で正常値、CRP 1.08でやや高値、その他の値に特異的なデータは認めず。

単純X線写真

小腸のケルクリング襻の間隔が広く見え、拡張ガス像よりイレウスを疑われた。



図.1 腹部単純X写真

超音波検査所見

イレウスの原因検索のため、超音波検査施行。疼痛部に音響陰影を伴う大きさ20.4×21.7の高輝度エコーを認めた。この高輝度エコーは回腸内にあり、これより口側の腸管に顕著な拡張を認めた。肛門側には腸管拡張なし。

また、胆嚢は虚脱、内部にエアールと思われる高輝度エコーが確認できた。

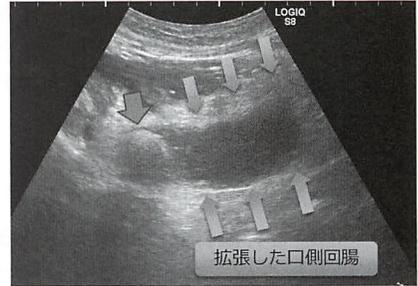


図2. 疼痛部（回腸）

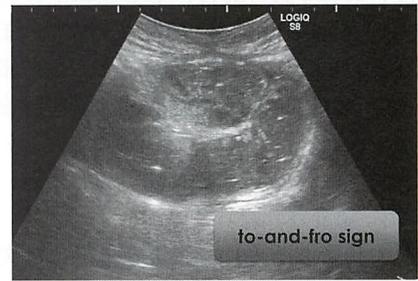


図3. 拡張した腸管



図4. 虚脱した胆嚢

単純腹部CT検査

腹部単純写真・超音波検査から、閉塞性イレウスを疑いCTを施行。エコー所見と同様に回腸内に結石と思われる石灰化像と結石よりも口側の腸管拡張を認めた。

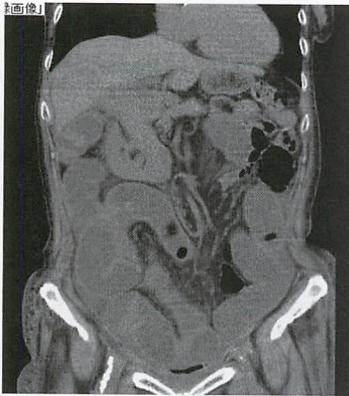


図5. CT冠状断

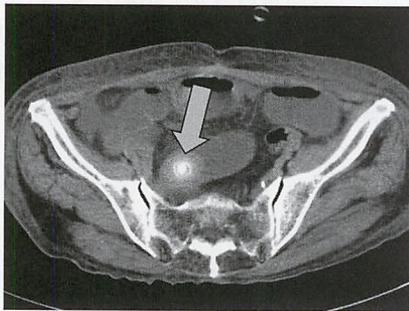


図6. CT横断像

1年前の検査と比較

この患者さんは病歴が長く、過去の検査画像が残っており、今回のエコー検査と1年前の検査との比較ができたので確認してみたところ・・・

1年前のエコー検査では胆嚢頸部に、音響陰影、層構造を伴った結石を疑う高輝度エコー（胆石）を認めていた。



図7. 胆嚢エコー 1年前との比較

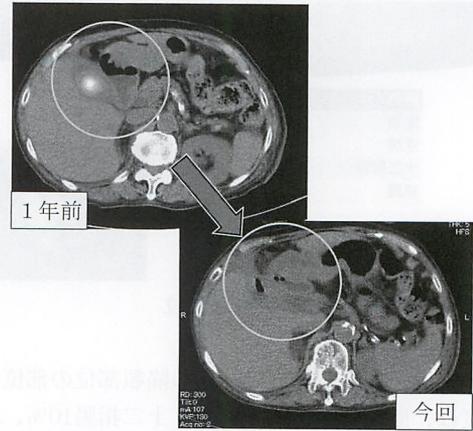


図8. 胆嚢CT 1年前との比較

CT検査でも、エコー検査同様、胆嚢内の結石はなくなり、虚脱した胆嚢内にエアーが確認できた。また、胆嚢と十二指腸の近接もあることから、今回の症例は、胆嚢十二指腸瘻に伴う胆石イレウスと診断された。

腸管内異物によるイレウス

- 食餌性イレウス (food ileus)
- 入れ歯などの異物
- **胆石イレウス (gallstone ileus)**
- 腸結石 (enterolithiasis)
- 宿便 (coprostitas)

図9. 胆石イレウスの種類

今回経験した胆石性イレウスの発生頻度は、全イレウスの0.05%~1.5%と報告されており、比較的まれな疾患。

瘻孔による排石経路

経路	頻度
胆嚢十二指腸瘻	84%
十二指腸乳頭	10%
総胆管十二指腸瘻	6%
胆嚢胃瘻	極少

図10. 瘻孔による排石経路

本症例は胆嚢十二指腸ろうによる排石が疑われていたが、瘻孔による排石経路では、胆嚢十二指腸ろうが8割以上を占めている。

嵌頓部位

部位	頻度
回腸	53%
空腸	34%
十二指腸	10%
結腸	3%



図11. 嵌頓部位

消化管内に排石された結石の陥頓部位の部位と頻度は、回腸53%、空腸34%、十二指腸10%、結腸3%と8割以上が小腸内とわかる。回腸内で最も多いかん頓部位は、回盲部より1メートル以内との報告もある。本症例でもこれに近い位置に陥頓していたと思われるが、同部位に放射線治療歴があることから、今回の原因は回腸癒着が影響してこの位置に嵌頓したのだと推測される。

結果

胆石性イレウス改善のため、まずイレウス管挿入による腸管内の減圧がまず行われた。根治的イレウスの改善治療のため、外科的治療が検討されたが、過去に子宮がんに対する放射線治療を行っていることから、治療後の癒合不全が懸念され、経過観察となった。入院後症状はなくなりイレウスも改善されたことから、石は完全には嵌頓しなかったと推測される。

入院から2か月後にCT施行。腸管内にあった石は、排石され、小腸の拡張もなく、イレウスは改善している。

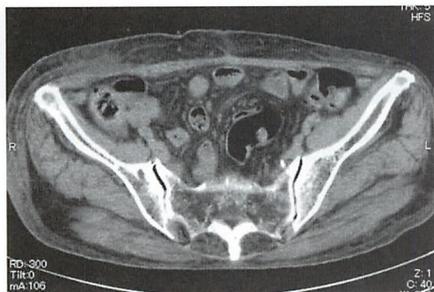


図12. 排石後のCT画像

今回の症例は、胆嚢十二指腸瘻から排出された胆石が癒着した腸管に嵌頓して引き起こされた胆石イレウスであった。

まとめ

- ・イレウスに加えて閉塞部に結石様の異物を認めた場合、胆石イレウスを疑い、虚脱した胆嚢や胆嚢内のガスまたは胆管気腫を探すことが重要。
- ・胆石イレウス、今回だけの一連の検査では胆石による嵌頓が原因のイレウスだと限定するのは困難であった。

過去画像と比較することにより、イレウスの原因が胆石によるものだということが、同定出来た。基本的なことだが、様々なモダリティの過去画像の情報を加えることにより、より精度の高い検査ができる。

当院では、今回報告させて頂いたすべての検査に携わることができるため、すべてのモダリティの所見も読むことができる。今後も、その強みを生かし正確なエコー診断につなげていきたい。

腹部嚢胞病変の一例

静岡済生会総合病院 放射線技術科 鬼頭 叔子

今回我々は腹部に認めた嚢胞性病変の一例を経験したので報告する。

〔症例〕

53歳女性。以前から時々ある腹痛のため、近医にて痛み止めを処方され様子を見ていたが、朝から腹部正中中部痛を認めたため再受診。その際、左下腹部に腫瘤を触知したため、当院へ紹介受診となった。既往歴に特記すべきものはなく、バイタルは正常。身体所見としては、腹部は柔らかく平坦。左側腹部から正中にかけて圧痛を認めた。

〔血液検査〕

白血球 $14.46 \times 10^9/L$ 血小板 $419 \times 10^9/L$ 好中球76.3% CRP1.256mg/dL と軽度上昇。
リンパ球15.8% と減少傾向。

〔超音波検査〕

左下腹部にやや内部エコーを伴う、約8×5cmの病変を認めた。後方エコーは増強し、ドップラー上血流信号は認めない。隣接する小腸に軽度の壁肥厚を認め、上記病変と関連して存在している印象であった。小腸間膜に関連する嚢胞性病変が疑われた。(図1)



図 1-a 超音波画像

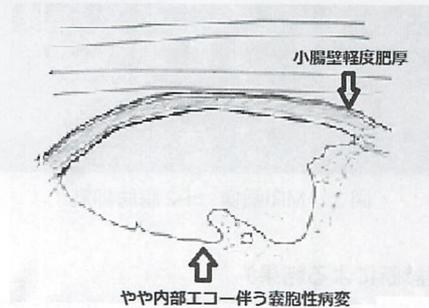


図 1-b 超音波シエマ画像

〔腹部造影CT検査〕

骨盤腔内に8cm程の多房性嚢胞性病変、及び隣接する小腸に浮腫性の軽度肥厚を認めた。病変内部は淡い高吸収を伴っているため、出血や粘稠度の高い液体を含んでいる可能性が示唆された。リンパ管腫などの腸間膜嚢胞、嚢胞変性をきたしたGISTや神経原性腫瘍、内膜症性嚢胞が鑑別に上げられた。(図2)

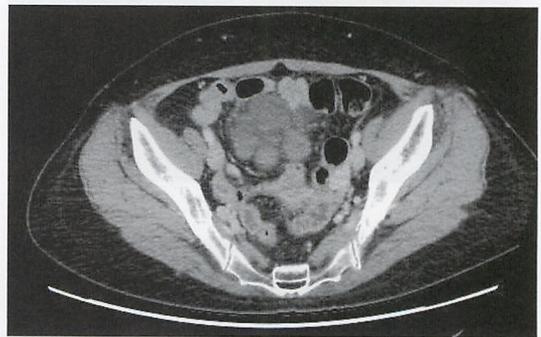


図 2 造影CT腹部画像

〔腹部MRI検査〕

CTと同様に骨盤腔内に8cm程の病変を認め、T2画像にて脂肪と同程度の信号。T2脂肪抑制画像にて高信号、fluid-fluid levelを認めたため、出血を伴う嚢胞性病変の可能性が示唆された。また、T1画像にてチョコレート嚢胞ほどの高信号を認

めなかったため、内膜症性病変は否定的となった。
(図3)

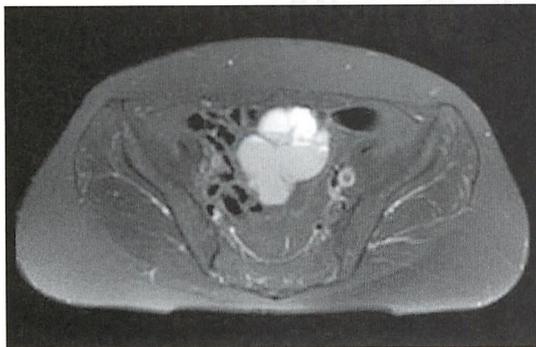


図3 MRI画像 T2 脂肪抑制

〔病理診断による結果〕

自覚症状のある腹部腫瘍のため、外科にて摘出術が施行された。結果は小腸間膜囊胞状リンパ管腫であった。回腸の漿膜面から小腸間膜内に多房性cysticな部分を認め、内部に出血を観た。Cyst内面には扁平な内皮様の萎縮細胞を認め、壁は平滑筋繊維で異型性は観られず、出血は二次性的ものと考えられた。(図4)



図4-a 病理標本

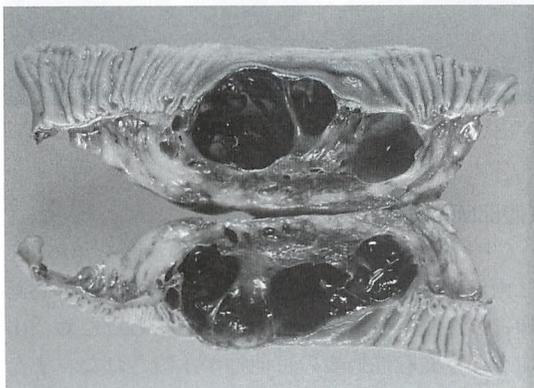


図4-b 病理標本

〔考察〕

リンパ管腫とは、大小様々な水風船の様な囊胞が集まって塊を作っている病変である。この囊胞はリンパ管が異常に膨らんで袋状になったもので、内部はリンパ液で満たされている。全身どこにでも発生し頭頸部や縦隔、腋窩に好発する。本来出血などが伴わなければ、超音波検査にて完全な無エコー病変として描出される。また、基本的に単発性である。多発性びまん性に広がり浸潤傾向を示す場合は、リンパ管腫症(別名ゴーハム病)を考慮すべきである。

今回の病変である小腸間膜囊胞状リンパ管腫(腸間膜内のリンパ管腫)は比較的稀な疾患である。原因は定かではないが、腹痛を主訴として発見されるケースが半数を占めるとされており、腸重積や捻転などの報告もある。今回のケースにおいても痛みの部位に病変を認め、同部位の超音波検査にて腫瘍と腸管との関連性について描出出来たことで、有用性は高かったと思われる。

鑑別診断として良性多囊胞性中皮腫、内膜症、GISTなどがあるが、腸間膜囊胞の約半数がリンパ管腫という報告もあるため、知識として憶えておくべき症例である。

診断が困難だった軟部腫瘍の一例

富士市立中央病院 遠藤 佳秀

症例：60歳 男性

主訴：炎症反応高値、および大腿部、腓腹筋部の腫脹
《既往歴》

2015年12月、尿管結石にて開業医を受診した際、腎機能障害を指摘される。

2016年6月原因不明の慢性腎臓病により他院より紹介受診。12月当院で血液透析導入2017年1月より夜間の透析を希望され、他院にて維持透析を行っていた。

《現病歴》

2017年2月ほどより大腿部、および腓腹筋部の腫脹を認め、徐々に増悪、CRPの上昇を認め、3月16日に当院紹介受診。同日に実施したCTで右腎に石灰化を伴う腫瘤を指摘、右下肢の腫脹についてはMRIにて筋膜炎が疑われた。同日に腓腹筋部の皮膚生検を実施、結果はFibrosisということだった。

その後下肢痛増悪を認め、炎症のフォーカス検索目的で4月18日に入院となった。

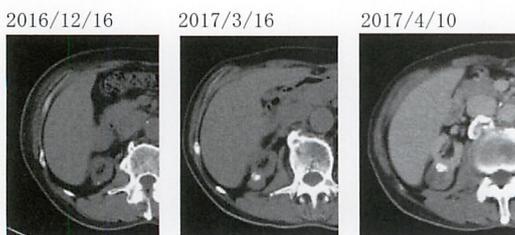
入院後、様々な検査を実施したが、炎症のフォーカスは明らかでなかった。

《血液データ》

	2016/6	2016/12	2017/3	2017/4
WBC	11400	9300	11400	14200
CRP	0.78	4.32	8.55	13.88

《画像所見》

* 右腎腫瘤

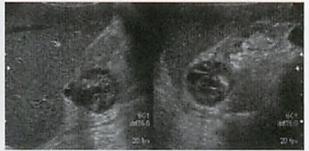


CTの読影は右腎の石灰化を伴う腫瘤は急速に増大を認めることと、緩徐な造影パターンからRCCは否定的、Complicated cystを疑った。

2016/12/14



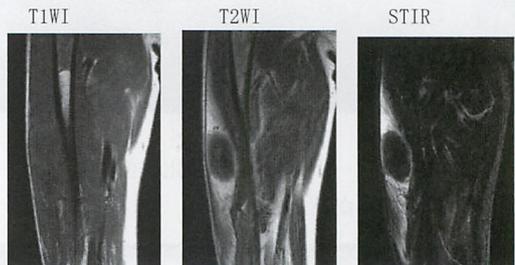
2017/4/20



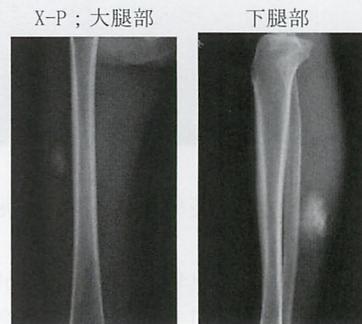
USでは嚢胞変性と石灰化を伴う充実性腫瘤として認められ、拍動性血流が確認できることから典型的ではないがRCCを疑った。

* 下肢腫瘍

MRI；T1WIで周囲筋層と同等、T2WIでは辺縁部優位の高信号を呈し、周囲筋層、筋膜に炎症性変化や浮腫性変化と伴う。結節性筋膜炎や、神経原性腫瘍が鑑別に挙がる



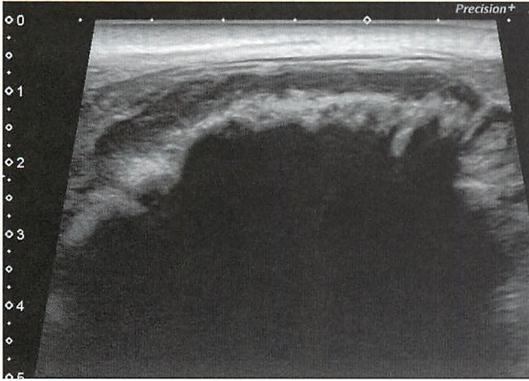
US；下肢：大腿部側面、下腿部背側筋層内に粗大石灰化を伴う腫瘤を認める。石灰化の表面には血流豊富な低エコー帯を認める。また他にも同様な性状を呈する小結節が散見された。



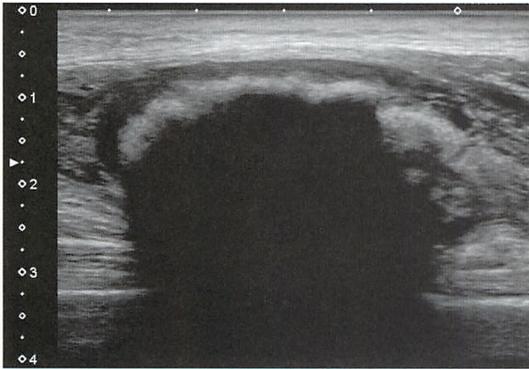
粗大な石灰化を認める。

下肢エコー所見

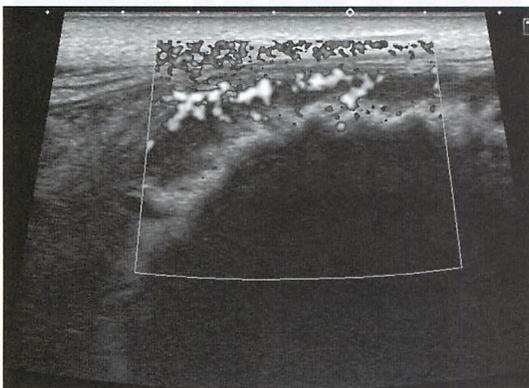
腓腹筋部



大腿部側面



腓腹筋部パワードプラ：石灰化表面の低エコー帯に豊富な血流が認められた。



エコーでは骨化性筋炎や、結節性筋膜炎を疑った。

その後、整形外科コンサルトにて静岡がんセンター受診を勧められ、同センターにて生検を実施。

結果は骨外性骨肉腫、多発転移であった。

《考察》

- ・透析導入以前は下肢浮腫が著明で、腫瘤の発見が遅れたと思われる。
- ・骨外性骨肉腫が炎症のフォーカスか否かは不明。
- ・骨外性骨肉腫は非常に稀な腫瘍であり、経験、知識とも足りず、診断に至らなかったと考える。

《骨外性骨肉腫について》

《概念》

軟部組織に原発し、腫瘍細胞が骨芽細胞でその特徴、即ち骨形成能を示す悪性腫瘍。軟骨成分や線維芽細胞様細胞を伴うことがあってもその他の細胞や組織への分化は認めない。

《疫学》

頻度は軟部肉腫の約1~2%と稀な腫瘍。成人、特に40~60歳代に最も多い。

男性が女性の約2倍。体のあらゆる場所に生じうるが、特に大腿、臀部、肩軀幹、後腹膜などに発生しやすい。

《画像所見》

- * 単純X線写真、CT；深部に位置する大きな軟部腫瘍として認められ、内部に著明な石灰巣を認める。この骨化は不整形で雲霞状の形態をとる。
- * MRI；境界明瞭な分葉状の軟部腫瘍として認められる。腫瘍の実質部はT1WIで低信号、T2WIで高信号、内部に不均一な増強効果を示す。
石灰化部分はT1WI、T2WIとも低信号

メッセージボード

平成29年10月現在

東部地区

◎経過報告

H29/8/22(火)

- ・第2回幹事会開催
(伊豆保健医療センター 出席者14名)

- ①静岡県放射線技師会報告
- ②第1回放射線セミナーについて
- ③第1回胃がん検診従事者講習会について
- ④東部地区ふれあい広場について

H29/9/15(金)

- ・東部地区だよりVol.2 発刊

◎行事予定

H29/10/21(土) 9:30～14:00

- ・第13回伊豆の国市市民ふれあい広場
(伊豆の国市 葦山福祉・保健センター)

- 内容
- ①放射線被ばく相談
 - ②無料骨密度検診
 - ③放射線パネル展示

H29/10/24(火) 19:00～

- ・第3回幹事会 (伊豆保健医療センター)
- 議題
- ①静岡県放射線技師会報告
 - ②第2回放射線セミナー
 - ③第2回胃がん検診従事者講習会
 - ④10/21東部ふれあい広場報告

H29/11/11(土) 14:30～17:30

(プラサヴェルデ407会議室)

- ・第1回放射線セミナー
- ①日立製作所 最新MRI装置の紹介

～MRI検査にSmartな Solutionを～

株式会社 日立製作所 大森 一慶 先生

②面積線量計及び個人被ばく管理について

トーレック株式会社 吉村 信之 先生

- ・第1回胃がん検診従事者講習会
ワークショップ

『～標準化に向けて～上部消化管検査における読影レポートのこれから』

演題 「私の考える上部消化管読影レポート」

演者 調整中

H29/12/1(金)

- ・東部地区だより Vol.3 発刊

H30/1/27(土) 14:30～17:30

(プラサヴェルデ401会議室)

- ・第2回放射線セミナー
東部地区会員発表

- ・第2回胃がん検診X線撮影従事者講習会
講演「今日の内視鏡診断と治療」

静岡がんセンター 田中 雅樹 先生

H30/2/6(火) 19:00～

- ・第4回幹事会 (伊豆保健医療センター)
- 議題
- ①静岡県放射線技師会報告
 - ②東部地区通常総会
 - ③次年度役員、事業計画
 - ④静岡県放射線技師会定時総会

H30/2/9(金)

・ 東部地区だより Vol.4 発刊

H30/3/3(土) 15:00～

(会場：調整中)

・ 平成29年度東部地区会通常総会



◎経過報告

H29年7月1日(土)

・ 地区会News 夏号発送 (県技師会事務所)

H29年8月25日(金)

・ 中部地区施設代表者会議 (県技師会事務所)

出席者 18名(各施設代表者・役員)

県技師会役員輪番制度改訂について

H29年9月1日(金)

・ 第2回幹事会 (市立島田市民病院)

出席者 9名(県副会長・地区幹事)

1. 地区会長 挨拶
2. 県技師会理事会報告
3. 第1回放射線セミナー及び第1回胃がん検診X線撮影従事者講習会について
4. 静岡ふれあい広場について
5. レクリエーションについて
6. 地区会ニュース秋号の発送について
7. 平成28年度中部地区会総会及び第2回胃がん検診X線従事者講習会について
8. 退会者承認について
9. その他

H29年9月10日(日)

・ 静岡ふれあい広場 参加

(管理士部会・超音波部会、乳腺画像部会、医療安全推進委員、県役員、地区会幹事、

中部地区会員、全28名参加協力)



H29年9月30日(土)

・ 第1回放射線セミナー及び胃がん検診X線撮影従事者講習会 (静岡赤十字病院)

参加者 31名

『放射線セミナー』

「消化管のMRI ～肝胆脾を含めて～」

静岡済生会総合病院 山崎 敬之 会員



『胃がん検診エックス線撮影従事者講習会』
「胃がん死亡を減らすためのロードマップ ~ 胃がんは予防の時代へ ~」

静岡赤十字病院 健診部長 経鼻内視鏡
センター長 川田 和昭 先生



◎行事予定

H29年11月11日(土)

- ・レクリエーション
(ボウリング大会・懇親会)

H29年11月 中旬

- ・地区会News 秋号 発行

H30年1月 中旬

- ・地区会News 新春号 発行

H30年2月2日(金)

- ・第3回 幹事会 (市立島田市民病院)

H30年3月3日(土)

(もくせい会館)

- ・平成29年度 中部地区総会
- ・第2回胃がん検診X線撮影従事者講習会
- ・第2回放射線セミナー

西部地区

◎経過報告

H29/07/20

- ・西部地区会機関紙 西部TIPS平成29年度 第1号発行

H29/07/23

- ・西部地区レクリエーション

「鮎の掴みどり&バーベキュー」

会場：浜松市 竜ヶ岩洞あゆ狩り園

参加者79名



H29/09/12

- ・平成29年度 第2回幹事会
会場：浜松医療センター 会議室
出席者9名

◎行事予定

H29/10頃

- ・西部TIPS 平成29年度 第2号発行

H29/11/22

- ・西部地区レクリエーション
「ボウリング大会」
会場：毎日ボール

H29/11/26

- ・社会活動 可美公園まつり(健康ブース)
会場：可美公園総合センター

H29/11/26

- ・平成29年度 第3回幹事会
会場：可美公園総合センター

H30/01/16

- ・平成29年度 第4回幹事会
会場：浜松医療センター

H30/01頃

- ・西部TIPS 平成29年度 第3号発行

H30/03/03

- ・平成29年度 第2回 西部地区会勉強会 および 定期総会
会場：プレスタワー 17階 静岡新聞ホール
- ・第2回 胃がん検診X線撮影従事者講習会
- ・第2回 放射線セミナー



H29/6/2

- 日本診療放射線技師会創立70周年記念式典
(東京都千代田区丸の内 パレスホテル東京)
山本(英) 大須賀 栗田 愛甲 増田

H29/6/3

- 第78回(公益)日本診療放射線技師会定時総会
(東京都千代田区追手町 日経ビル)
大須賀 高橋 増田 栗田 愛甲

H29/6/8

- 第5回常任理事会(技師会事務所)
山本(英) 大須賀 高橋 川守 海野
増田 遠藤 栗田 山本(智) 愛甲

協議事項

- ・第6回定時総会・第22回学術大会の反省
- ・永年勤続表彰について
- ・国立研究開発法人科学技術振興機構へのデータベース収録の可否について

H29/6/10

- 第70回超音波部会研修会(静岡赤十字病院)
参加：会員23名 非会員19名(検査技師16名)

H29/6/22

- 第6回常任理事会(WEB会議)

H29/7/13

- 第7回常任理事会(技師会事務所)
山本(英) 松本 大須賀 高橋 川守
海野 遠藤 栗田 山本(智) 愛甲

H29/7/27

- 第8回常任理事会(WEB会議)

H29/8/17

- 第9回常任理事会(技師会事務所)
山本(英) 大須賀 高橋 川守 海野
増田 遠藤 栗田 山本(智) 愛甲

協議事項

- ・第2回理事会協議事項について

- ・東海4県野球大会の県代表チーム派遣について
- ・マンモボジショニングファントム購入方法について

H29/8/26

第2回理事会

協議事項

- ・大学院卒者の会費免除についての件
- ・マンモ備品購入の件
- ・PC新規購入の件
- ・野球大会の件
- ・東海4県放射線技師学術大会の件
- ・企画申請報告書承認の件

H29/9/10

第38回静岡ふれあい広場への参加

参加：技師会より28名

H29/9/14

第10回常任理事会(技師会事務所)

山本(英) 松本 大須賀 高橋 川守
海野 増田 遠藤 栗田 山本(智) 愛甲

協議事項

- ・TSD東海スクリーニング大腸CT研究会後援依頼について
- ・ゆうメール料金値上げに伴う経費増加承認の件
- ・次期理事選出について

H29/9/21

第11回常任理事会(WEB会議)

H29/9/30

第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会
及び放射線セミナー(中部)

①放射線セミナー

「消化管のMRI～肝胆脾を含めて～」

静岡済生会総合病院 山崎 敬之 会員

②胃がん検診エックス線撮影従事者講習会

「胃がん死亡を減らすためのロードマップ
～胃がんは予防の時代へ～」

静岡赤十字病院 検診部長・経鼻内視鏡
センター長 川田 和昭 先生

参加者 31名

会 員 動 静 (敬称略)

(平成29年6月1日～9月31日)

【入 会】16名

東部：	中村健一郎	聖隷沼津病院
	山下 悠太	順天堂静岡病院
	坂元 真衣	国際医療福祉大学熱海病院
中部：	松嶋 拓弥	静岡市立静岡病院
	高橋 朋子	聖隷健康サポートセンター
	佐々木美貴	静岡済生会総合病院
西部：	竺原 彩斗	中東遠総合医療センター
	柘植 新輔	聖隷浜松病院
	佐藤 雷人	聖隷三方原病院
	松田 依子	中東遠総合医療センター
	山田 洋次	すずかけセントラル病院
	高田 翔平	聖隷健康診断センター
	大城みづき	聖隷三方原病院
	安藤 澄香	聖隷浜松病院
	平間 歩未	聖隷浜松病院
	山本 裕介	菊川市立総合病院

【転 入】1名

東部：田中 諭宇 百葉の会湖山病院
←山梨県

【転 出】3名

東部：中屋 良宏 千葉 ←
磯部 達也 千葉 ←
西部：松永 卓磨 愛知 ←

【退 会】2名

東部：稲葉 裕子 遠藤クリニック
西部：米山 浩司 聖隷浜松病院

【産 休】1名

西部：山中 礼奈 聖隷健康診断センター

【勤務移動】 5名

東部：伊藤 理沙 御成橋 栄クリニック

←自宅

河合 祐太 自宅

← 静岡医療センター

中部：鈴木 貞子 自宅

←静岡県結核予防会

西部：田中 睦生 聖隷健康診断センター

←聖隷三方原病院

金子 千尋 鈴木医院

←医療法人北斗わかば病院

【名称変更】 1名

中部：長島 百合 (旧姓：斉藤) 桜ヶ丘病院

会員総数	874名
東部	283名
中部	257名
西部	332名
県外	2名
(平成29年9月13日現在)	

【電報】 1件

中部：山口 祐樹 結婚祝電



6/2 東京放射線 2017年6月号

Vol.64 No.751

6/6 広島県診療放射線技師会会誌

No.47 2017.6

6/8 福岡県診療放射線技師会誌

第335号

6/21 福井県診療放射線技師会会誌

第38号

6/27 富山県診療放射線技師会会報
Vol.85 2017

6/29 島根県診療放射線技師会雑誌
放射線島根No.95 Vol.53-1 2017.3

7/3 東京放射線 2017年7,8月合併号
Vol.64 No.752

7/4 放射線やまぐち 2017 Vol.266

7/26 かながわ放射線だより 269
Vol.70 No.2 Jul.2017

7/31 埼玉放射線 No.3 2017

8/3 兵庫県診療放射線技師会誌 8
2017.8.1 Vol.77-①

8/7 香川県診療放射線技師会誌
第47号 2017-3

8/16 大分放射線 第108号 July 2017

9/1 東京放射線 2017年9月号
Vol.64 No.753

9/5 会報 2017年9月
北海道放射線技師会

9/11 会報 MART 第88号
宮城県放射線技師会

9/15 富山県診療放射線技師会会報
Vol.56 2017

9/27 かながわ放射線だより 270
Vol.70 No.3 Sep.2017

9/28 岐阜県診療放射線技師会雑誌
第88巻 (通号124号)

平成29年度 第2回 理事会 議事録

1. 開催日時 平成29年 8月26日(土)
14:00~16:50
2. 場所 静岡県放射線技師会事務所
静岡市葵区本通1丁目3番地5
フェリス本通り 202号
3. 理事 16名 監事 2名 顧問 1名
事務局 1名
採決可能理事 16名

4. 出席者

山本 英雄、大須賀 健、松本 恭徳、高橋 真、和田 健、川守 剛靖、海野 泰宏、増田 秀道、遠藤 雅和、栗田 仁一、山本 智久、愛甲 泰久、大倉 善郎、樽松 文孝、竹田 守、春日 孝博、阪口 充 深澤 英史（監事）、窪野 久行（監事）、和田 健（顧問）、石川 美代子（事務局）

敬称略

(1) 会長あいさつ

山本会長： 定刻になりましたので、第二回理事会を開催したいと思います。先立ちまして、総会が終わった後の初めての理事会になります。5、6、7、8月を振り返りたいのと今後に向けてやっていきたいと思います。このお暑い中大変とは思いますが体調に気をつけてもらいたいと思います。それでは、定款の32条第一項に基づきまして、議長は私が勤めさせていただきます。議事録は総務庶務の海野さんをお願いします。

本日は、常任理事16名全員出席、幹事2名、顧問1名、各委員会全員とフルメンバー出席です。

それでは、資料に基づいて進行していきたいと思っています。

(2) 報告事項

① 会長報告

まず、私からの報告事項となります。

日放技からいろいろ調査がありました。放射線技師の業務に関する調査ということで、いろいろな項目がありました。目標は2000施設でしたが1600ぐらいしか回答が集まりませんでした。1500施設は集まりましたので、集計して提出しようと思います。静岡県は、30施設依頼がきまして22施設提出がありました。

次は33回の函館大会です。演題もなかなか集まらない状態で、期間を延長してなんとか600ぐらい集まりました。あと、事前参加登録が1300人分しか集まっていないです。2000人を目標にしていました。こちらでも期間を延長しましたが、目標には届いていません。ですが、毎年当日受付がありますので人数が増えますが、目標には届かないと思います。静岡県では、31名の登録がありました。情報交換会は、6名の参加となっております。参加者が0名の県もあります。現場の人たちもがんばってますので、機会がありましたら参加の方よろしくをお願いします。

あとは、日放技の総会と70周年記念式典が無事行われました。厚生労働大臣表彰として表彰委員長の小池さんが表彰されました。

日放技から、診療報酬に関する要望書を提出したとか、政策に関する要望書を作成しましたとかがJART等で掲載されていますので、確認されていると思います。

レントゲン週間の助成金を出してくれるということなので、本県も昨年と同様に申請しようと思います。7月7日に日放技の佐野副会長と一緒に静岡医療科学大学校に訪問しました。平成30年に開校されますが再度佐野副会長と共に日放技の規定に関しての話をしてきました。前回までは、事務局と話をしていましたが、理事長は無理でしたが、長野学校長と話ができました。こちらの話はわかるけども専門学校にくるニーズがあるのでと言わ

れました。一度就職し技師免許を取得したいと
思っている人に対して、4年でなくて3年でなお
かつ学費が安いというニーズがあると言われました。
その後7月18日に県の地域医療課の医療人材室室
長の方に会いに佐野副会長と一緒に行きました。
日本放射線技師会の養成校設立についてのお話を
してきました。内容はわかるけども資料が正しく
提出されているなら受理するしかないと言われま
した。大阪では4年制の大学校ができるようです。
マンモグラフィの撮影技術講習会を乳腺部会が単
独で行います。12月9,10日に開催予定です。精
中委には申請済みです。

協議事項にあります、マンモグラフィの指触診
ファントムとかポジショニングファントムとかを
マンモの余剰金がありますので、購入させていた
だきました。それを貸し出しという形で、会員の
みなさまに利用してもらおうと思います。

私からは、これくらいになります。

続きまして、各副会長からの報告となります。ま
ずは東部から。

②副会長報告

東部副会長：大須賀副会長

私からは委員会の報告を二ついたします。

一つ目は、災害委員会からでジャーナルの会告で
もお知らせしたように11月25日（土）に牧之原市
原子力防災センターにおいて、原子力研修会を今
年度も実施いたします。例年は、県立総合病院で
行われていましたが、今年度は場所を変更し原子
力防災センターで実施します。

例年30名ほどの参加がありますが、今年度も30～
40名程度の参加を予想しています。県民向けの公
開講座を行っていましたが、今年度は会場の都合
で見合わせております。従いまして、会員だけ
の参加になります。原子力防災センターの施設の
内容等は、資料を回しますのでご覧ください。詳
しい内容は研修に出ただけいたらわかると思ひ
ます。

二つ目は、企画調査委員会からです。8月3日の
三会合同会議後の第一回企画調査委員会を開催し
ました。内容は、前年度の研修会の反省点と平成
29年度放射線技師研修会のテーマ、場所、内容、
特別公演講師などを協議をしました。8月24日（木）
に平成30年3月11日（土）に行われる第48回アン
ギオ部会研修会、第8回MRI技術研修会、平成
29年度静岡県放射線研修会の合同の事前打ち合わ
せをアンギオ部会長、MRI部会長と行いました。
協議内容としては、テーマ、プログラム、会員発
表、特別公演、教育公演の演者の話し合いをし
ました。委員会の報告事項は以上となります。

中部副会長：松本副会長

昨日、中部地区会長の樽松会長のご発言によつ
て静岡県放射線技師会中部地区会の役員選定につ
いて代表者会議が行われました。その中で、会員
5名以上の施設の技師長様にお集まりいただき輪
番制についてお話をされました。5名以上の施設
というのがネックとなりまして中部地区だけで、
7名ある常任理事の5名を負担するのが大きすぎ
るという話が出ました。今後常任理事会で協議し
てほしいと要望がありました。こちらからは以上
です。

西部副会長：高橋副会長

部会報告をさせていただきます。超音波部会
ですが、6月10日に静岡日赤病院で超音波部会が行
われております。会員23名非会員19名の42名の参
加がありました。

今後の企画ですが乳腺部会とワークライフバラ
ンス検討委員会の第一回合同勉強会を9月30日に行
う予定です。場所は浜松市の労災病院です。MRI
部会は、10月28日に勉強会を行う予定です。場
所は、前回と同じでB-nest静岡市産学交流セン
ターです。ペガサート6階で行われます。

あと、被曝相談が一件ありました。回答をし
ました。内容としては、頭部CTを若いときに三回ほ

ど受けているが、近藤誠先生の著書によると被曝
が大きいようだが大丈夫なのかという内容でした。
これに関しては、大丈夫ですという趣旨で返答し
ておきました。

山本会長：

総会の時に問題になりました、水間会員からの
指摘されました永年勤続表彰の遅延についてです
が、いろいろ対応しました。日放技と話をしてく
う理由で洩れていたと報告しました。今年度
の表彰に間に合いました。今後は、このようなこ
とがないように来年の表彰の選出にあたっては、
日放技は技師免許取得年を基準として算出して
いますので、これを基準にして算出していきたい
と思います。県の方は技師会の加入日なので、日放
技と多少ずれます。ここはやむを得ないと思
います。それに伴いまして、水間会員に謝罪を
して結果報告はしております。全会員に対しても
前回のジャーナルの中にお詫び文を入れました。
若干の間違いはしょうがないとしても、来年
年度慎重にやりたいと思います。難しい部分
もありまして、もうすでに対象の人でもう
一回対象になる可能性があります。対象者
には表彰があるか確認はしているのですが、
断ったけどもう一度来る可能性があります。
本人に考えていただいて、申請するか
どうか考えてもらいたいです。今年
の秋に申請を出しますが、慎重に
対応していきたいです。

あと、2、3日前に出しました柔道整復師の件
がありますが、日放技が反対ですので日放
技の理事が反対の署名を集めて提出する
ことになっております。ご意見がある
ようでしたら、後半に行く協議事項
のその他のところをお願いします。

③ 常任理事報告

総務：川守理事

今年度の賛助会員が23社あります。賛助会費に
つきましては7月31日に第一三共さんが
納入していただきました。すべて23社
納入していただきま

した。ジャーナル広告料ですが、19社
あります。バイエルだけ未納です。毎
年11月ぐらいに納入されています
ので、今年も11月ぐらいに納入さ
れるのではないかと思います。5月
28日に定時総会が行われ学術集
会も行われました。みなさまの監
修の下、議事録を提出しジャーナ
ルに掲載しました。その学術集
会の抄録集ですが、賛助会員に
広告を募ったところ、9社広告を
掲載してもいいと返答をいただき
ました。その9社には、8月16
日に請求書という形で発送して
あります。来年1月13日に新春
公開講演会の後にアール祭を行
いますが、伊藤会員の叙勲の件
もありますので、参加よろしく
お願いします。

総務庶務：海野理事

資料がいくつかありますが、前
回のときにも提出しました弔問
および弔慰金申請書と祝電およ
び結婚祝い金申請書を完成さ
せました。申請方法は別として、
フォーマットは完成させました。
あとで承認していただけたら
と思います。協議事項の中に
マンモグラフィの購入とあり
ますが、それに伴って借用書
もあわせて作成しました。これ
も後で承認していただければ、
公式の借用書として使えます
ので、お時間のあるときに目
を通しておい

庶務一般：増田理事

報告事項です。胃がん検診
エックス線撮影従事者講習会
の委託事業について、県のほう
に見積書を作成し8月24日に
提出しました。西部の方と話
はついているのですが、本来
なら10月以降に開催して
いただくのですが、今回だけ
6月に一回開催されている
ので、委託事業としては一回
となります。県からの要望で
その一回は、セミナー合わせ
て3時間以上にして下さい
ということです。

庶務会員管理：遠藤理事

報告事項は、会員数と今年
度の会費納入状況で

す。総会員数は874名で新入会が若干いますので増加しております。会費納入率は、62.9%で例年通りの数字です。年会費納入期限が9月30日までとなっております。会費納入の呼びかけをよろしく申し上げます。未納者リストを作成しました。10枚くらいになってしまったので今回は印刷してませんが、理事会のメーリングリストで送りますので、お近くの施設がありましたら呼びかけをよろしく申し上げます。会長からのご報告がありましたように、表彰の関係で小池さんと連絡をとっており、間違えないように申請をしたいと思っております。

会計：栗田理事

再度のお願いとなりますが、7月にメールを送らせて頂いたと思いますが、事務所の印刷機使用に関してですが、この印刷機は使用量に応じて支払っています。毎月5,000円位だったのですが、5月に40,000円を超える請求があったということで、理事会や学術大会の準備で使用していると思われませんが、カラーだと単価が高いのでできれば白黒、できれば両面印刷を基本にしてください。

編集：山本理事

経過報告です。先月末の7月28日にジャーナルVol.27 No.1を960部発行しました。併せて第22回静岡県放射線技師会抄録集を900部発行しました。ジャーナルVol.27 No.2の発行に向けた今後の予定です。10月17日に原稿期限。10月24日に編集委員会（初校）。11月7日編集委員会（二校）。11月24日に発行となります。別紙の以下は、次のジャーナルの目次の予定となります。次の会告は12月から3月末まで開催されるものの掲載が必要となりますので、会告の作成をよろしく申し上げます。まだ若干催しの日程が未定のものがありますので、決定しましたら、常任理事メールで送ってください。目次と右側に原稿の担当者を振っております。今回の巻頭言を県の副会長が一周しま

したので、組織理事の方々にお願いする形になるのですが、過去のジャーナルを振り返りまして、次の巻頭言を西部の竹田さんをお願いしようと思っております。原稿作成の日が近づいてきましたら、改めて原稿作成依頼のメールをさせていただきますと思います。会告、報告等続いていますので、随時原稿作成を依頼していきますので、よろしく申し上げます。

広報：愛甲理事

ふれあい広場が二週間後に行われますが、ほぼ準備が終わりました。参加者の進捗状況は下記の通りとなります。超音波部会3名、乳腺画像部会2名、管理士部会9名、医療安全委員会2名、中部地区会7名、一般参加絵3名、役員2名、メーカー2名、合計30名です。その中から、超音波検査7名、乳がん検診のすすめ2名、骨密度検査9名、医療安全2名となっております。乳がん検診のすすめが2名ですが、超音波検査のところに昨年乳がん検診のすすめにいらっしゃった方がいますので、状況を見て手助けしていただければと思います。備品等の手配は完了しました。お弁当も来週頼みます。県庁から無料で女性のがんの検診リフレッツを200部頂きました。乳腺部会より、乳がん自己検診のリフレッツが必要とのことで300部購入しました。スタンプラリーを申し込みました。先ほど会長が言われました日放技への助成金を申請します。去年の参加者から言われていた通行人にくばるピラを1000枚作成しました。秋期公開公演は、配布したプリントに書かれている日時、場所、内容の予定です。本年度は、県対がん協会と一緒にやることになりました。なかなか講師が決まらない状態です。認識不足だったのですが、県対がん協会と共催となると必然的に県と共催となるということみたいですので、後援は必要がなくなります。将来的には県と一緒にやれればと思っていたのですが、実際これが県と共催となります。ひとつリスクがあります。

後援が今年で3年目となったので、通年後援となって審査が軽くなり、提出すればすぐに後援名義がいただける状態になったのですが、県との共催となったので、途絶えてしまいます。次年度単独開催するときには、また審査を受けないといいません。下見は、私の日程が合わない為行いません。平成27年に同じ場所で行っているのが当時の資料を参考にします。注意事項の変更はないようです。

情報管理委員会からは、PC購入の案がありますが協議事項となりますので、後でお話したいと思います。会長の計らいで、電話回線とプロバイダーの変更を行いました。変更はもう終わっています。光回線をNTTからオフィス光119に変更し、プロバイダーをauからオフィス光119に変更しました。同じような仕様で動作も問題ない状態にし、月額1,000円程のコストダウンとなりました。マンモ講習会申し込みフォーム作成し、レイアウトを考えて会長と乳腺部会長の許可が下りれば、来週か再来週ぐらいにはホームページ上に掲載しようと思っています。同時に統一講習会の啓発パンナーを作成する予定です。

山本会長：

地区選出理事から東部から

東部組織：大倉理事

事業報告からです。5月23日に第一回幹事会を伊豆保健医療センター会議室で行いました。6月15日に地区だよりVol.1発行。事業予定となっていますが、8月22日に第二回幹事会を伊豆保健医療センターで行いました。そこで話し合ったのは10月の東部地区ふれあい広場、11月の第一回放射線セミナー、胃がん検診X線撮影従事者講習会について検討しています。事業予定としまして、9月上旬地区だよりVol.2発行予定。10月21日に東部地区ふれあい広場開催。伊豆の国市 市民ふれあい広場に参加します。11月11日に第一回放射線

セミナー、胃がん検診X線撮影従事者講習会を行う予定です。内容はほぼ決まっています。近く企画申請書を提出できると思います。第三回幹事会を11月21日と明記していますが、10月24日に変更してください。12月上旬に地区だよりVol.3の発行予定です。事業報告事業予定は以上です。一点、ご報告させてください。平成30年5月に通常総会、学術大会会場のメイン会場がふじのくに千本松フォーラムプラサヴェルデコンベンションホールA 1階 1/2使用 240名収容。コンベンションホールAを使用しますと10人部屋の控え室が二つついてきます。たぶん二つ使える予定です。来年理事が替わりますので、臨時総会の会場として96名使用できる大会議室を予定しております。ちょっと大きいですかね？30人用と96人用しかなかったもので。今年から託児所の設置がありましたが、プラサヴェルデには託児所がございません。設置するとなると30名程度の小会議室。状況により1/2使用も可能ですがこれを確保してあります。来年の予算のことですが、ふじのくに千本松フォーラムは、大ホールを予約するために半年前に入金しなくてははいけません。三つの部屋を借りるために、検討したいのですが、この場で検討したほうがよろしいですか？検討事項にまわしますか？

山本会長：

あとでいいと思います。確保するにはお金を払わなければいけないということですよね？しょうがないですね。

東部組織：大倉理事

平成29年度予算で支払いできるかご検討お願いします。あと企画申請です。10月21日の東部地区ふれあい広場を掲載させていただきます。

山本会長：

次は中部

中部組織：樽松理事

経過報告です。4月28日に第一回幹事会を市立島田市民病院で出席者8名で行いました。内容は別紙に書いてある通りです。7月1日に地区会News夏号の発行を県技師会事務所で行いました。行事予定に入っておりますが、先ほど松本副会長からご説明があった通り、昨日中部地区施設代表者会議が県技師会事務所で行われました。内容に関しても先ほど松本副会長からご報告があったように、県技師会役員輪番制度改訂について話し合いが行われました。9月1日に第二回幹事会を市立島田市民病院で開催予定です。広報の愛甲さんからもご案内があった9月10日に行われる、第38回静岡ふれあい広場に参加予定です。9月30日に静岡赤十字病院で第一回胃がん検診従事者講習会・第一回放射線セミナーを開催予定です。11月11日にレクリエーションでボウリング大会ならびに懇親会を開催予定です。11月中旬に地区会News秋号発行予定です。年が明けて3月3日にもくせい会館で第二回胃がん検診従事者講習会・第二回放射線セミナーならびに平成29年度中部地区総会が行われる予定です。報告事項は以上です。あと企画申請書が出ています。

山本会長：

では西部

西部組織：竹田理事

6月10日に第一回西部地区勉強会が開催されました。参加者60名。勉強会が終わった会場で第一回幹事会を行いました。7月20日に西部地区会機関紙第一号発行しました。8月7日に夏のレクリエーションを開催しました。参加者79名。事業予定としては、9月12日に第二回幹事会。10月に日は決まっていますが、秋のレクリエーションのボ

ウリング大会。10月頃に機関紙第二号発行。11月26日の社会活動なのですが、可美公園に実施確定か先週まで決まっていますが、今日の午前中に尋ねましたら、責任者の方から必ず実施しますとお墨付きをいただきました。年が明けまして幹事会、機関紙の発行、西部地区勉強会と総会があります。一応、勉強会の企画報告書を添付しました。地区会負担で行っていますので報告だけでよいかと思ひまして。

学術地区会選出：春田理事

5月28日に行いました第22回静岡県放射線技師学術大会につきまして、参加者は167名です。行った内容は以下の通りです。

山本会長：

起案の日付が間違っていると思います。申請書の起案なら間違いではないと思いますが、報告書の起案です。

学術地区会選出：春田理事

では、6月くらいに日付を変更すればよろしいですか？

山本会長：

いいと思います。

学術地区会選出：春田理事

変更して、提出します。

山本会長：

企画調査

企画調査地区会選出：阪口理事

先ほど東部副会長のほうから、報告していただいた通りです。

山本会長：

監事のほうから何かありますか？

監事：

特にありません。

山本会長：

顧問からは何かありますか？

和田顧問：

愛甲さんの秋期公開公演の日付が28年度になっていますが、これは29年度ですよ？細かいことですみません。あと会員動静について承認は得ていないですよ？

庶務一般：増田理事

報告事項のときでよろしかったですか？協議事項と思われましたので後回しにしました。では、やらせていただきます。会員動静についてです。期間4月1日から8月18日現在までです。新会員20名、再入会2名、転入2名について定款第3章第6条に基づき本理事会での採決をお願いします。

山本会長：

それでは、報告がありましたように新会員20名、再入会2名、転入2名について承認を取ります。

理事会承認の採決します。

反対 0名 保留 0名 賛成16名 全会一致で承認されました。

山本会長：

石川さんから何かありますか？

石川さん

特にございませぬ。

山本会長：

協議事項に入りたいと思います。

始めに、大学院卒者の会費免除についての件についてです。会計の栗田さんお願いします。

会計：栗田理事

大学院卒者の会費免除についてですが、県のほうでは大学院卒者の会費免除の規定がありませんので、日放技と併せましてそれを規定したいと思います。納入規定の第3章第7条を新たに追加したいと思います。これは、日放技の規定と揃えています。これの承認をいただきたいと思います。規定の改廃のところが8条に変更になりまして改訂が行われれば、最後に平成29年8月26日一部改訂を追加したいと思います。県が用意している会費免除申請書の免除の項目に大学院等への進学者の免除を追加したいと思います。ご承認よろしくお願いします。

山本会長：

質問等がありますか？前回のときにも樽松さんから提案がありました事案です。日放技の規定を調べまして、それに順ずるような内容になっています。それでは、大学院卒者の会費免除についての会費納入規定の改定、および申請書の改定の承認をとりたいと思います。

理事会承認の採決します。

反対 0名 保留 0名 賛成16名 全会一致で承認されました。

山本会長：

続きまして、マンモ備品購入の件についてです。乳がんの指触診のファントムは購入しました。両乳と片乳の2つです。ふれあい広場等で使ってもらってかまいません。あともうひとつ、ポジショニングファントムがあります。それも購入するのですが、金額が10万を超えてしまい経理上ややこ

しいことになってしまいます。物はちゃんとしたものがくるのですが、二分割してオプションとして購入できるということなので、このようにしました。本来なら105,000円で10万円を切れませんでした。81,000円と24,000円と分け、支払いも8月と11月に分けて納入します。物はちゃんとしたものが届きます。そのことに関して、ご理解と承認をお願いします。何かご質問はありますか？

西部組織：竹田理事

ふれあい広場で、触診用のファントムを担当の病院から持ち出している状態なのですが、許可はもらっています。今後借りるときにはどのような手順を踏めばいいのでしょうか？物を取りに来なければいけないですよね？

山本会長：

取りに来なければいけないです。貸し出し用の書類も用意してあります。

西部組織：竹田理事

取りに来るのが距離があるので、郵送してもらってもしくは返却時に郵送するはだめでしょうか？貸し出しする時のシステムは、後で決めていただければいいですけど。

総務庶務：海野理事

輸送時に何かある場合が怖いので、郵送はしない方向でお願いしたいです。

西部副会長：高橋副会長

もしくは、我々でもかまわないので使っていたければ、責任を持って返します。

庶務一般：増田理事

副会長さんを使って返却する場合には、二週間は短くないですか？借用書には二週間と書かれていますので。常任理事会だと一ヶ月期間あります

から。

総務庶務：海野理事

他で使いたい時に困るので、二週間と明記しています。最大二週間にしてあるので、上限は増やしてもかまわないですが、長くしすぎてずっと持っていていられても困るので、そこの線引きが難しいかと思います。

西部副会長：高橋副会長

借りる以上は、それは基準にして借りないとする借りられてしまう可能性があります。役員を使うのは、こちらに来るときであって普段からこちらに来るわけではありませんので。

西部組織：竹田理事

郵送してもかまいませんか？

西部副会長：高橋副会長

壊れ物ですので、何かあったときには怖いですよ。

山本会長：

貸し出す物の中には、サーベイメーターもありますから上手にやっていただきたいです。

西部組織：竹田理事

申請書は、普通に借りる前に出しておけばよろしいですか？

山本会長：

確認は取りますし、申請書で台帳管理します。

西部組織：竹田理事

申請書の提出先は、どこですか？

山本会長：

県技師会の事務所になります。

西部組織：竹田理事

電話で聞いていいですか？

山本会長：

それでいいです。石川さんの負担が増えるかもしれませんが、マニュアルを作成しますのでお願いします。他にありませんか？
ポジショニングファントムの分割購入の件について決を採りたいと思います。

理事会承認の採決します。

反対 0名 保留 0名 賛成16名 全会一致で承認されました。

山本会長：

PC新規購入の件について、愛甲さんよろしくをお願いします。

広報：愛甲理事

第七回常任理事会で協議しまして、四種類くらいのPCを提案しまして、最終的にこのように決まりました。MOUSE社製のノートパソコン15.4インチの大き目です。10万円以内ということで、94,176円です。導入ポイントは、国産メーカーでアフターサービスがいいと言われている。現在、使用しているノートパソコンも若干老朽化しているので兼用も可能の二点です。新規PC購入に伴い、セキュリティソフトも購入予定です。無料もありますが安全性を考えると有料版がよいと考えます。費用としては年間5,000～6,000円をめどと考えます。体験版無料ソフトが60日ありますので、その間にソフトの選定をしたいと思います。あとは、前々から言われているPower Pointの件ですが、現在単体での購入ができませんので、プレインストール版を購入かPower Point home&businessを購入とありましたが、第七回常任理事会でOffice365を購入すると決定しました。年間支払いをすると月額900円となります。会長が

行った光回線の浮いたお金でOffice365が手に入ると考えます。これで最新のPower Pointが使用できます。承認のほうよろしくをお願いします。

山本会長：

何かご質問は？

西部組織：竹田理事

ONE DRIVEのライセンスは、東中西で均等にいただけるのですか？

広報：愛甲理事

1アカウント5ライセンスがありますので、東中西の地区会のパソコンに一台割り当てられます。ONE DRIVEもありますので、重たいファイルはこれで共有できます。地区会に1ライセンスお渡しできます。

西部組織：竹田理事

地区会に1ライセンスいただけても、地区会のパソコンを持っていないというのがネックになります。地区会用のパソコンがなく個人パソコンを使用しているので、少し問題かもしれません。

山本会長：

地区会のパソコンは持っていないのですか？

西部組織：竹田理事

持っていますけど、古いXPのパソコンがありまして更新がお金がかかるので保留状態です。使用するときには、自分の施設にあるパソコンを持ってきて使用している状況です。アカウントとONE DRIVEをいただけるのは大変ありがたいですが、個人のパソコンに入れて使ってみます。

山本会長：

東部と中部は、使えるパソコンは持っていますか？

東部組織：大倉理事・中部組織：樽松理事
あります。

山本会長：

では、ノート型PC購入について、決を採りたいと思います。

理事会承認の採決します。

反対 0名 保留 0名 賛成16名 全会一致で承認されました。

山本会長：

野球大会についてですが、時々メールで流していますが、岐阜県のほうで東海四県で野球大会をやりたいという要望がありました。できましたら、参加してくださいとのことです。昔は、参加したこともあります。なんとなく野球ができる人数は集まりそうな感触でした。正式に日程等が決まりましたら、参加しますと返答しました。他県も参加するようです。常任理事会で費用はどうするのかという話になりました。岐阜県も考慮しCCRTの前日に野球大会を設定し、その後にCCRTに参加するように会場を手配しております。交通費、食費、宿泊費、保険等の問題もあります。他県に聞きましたら、愛知県は、技師会で負担するのは交通費、お弁当、傷害保険料だそうです。交通費も各自ばらばらで行くのではなく、なるべく車でまとまって行く形を取っております。車に対する費用を負担するというわけです。食事代は昼の弁当支給で。念のため傷害保険もかけております。それ以外の日当や宿泊費は、負担しないようです。県技師会からお金を出したとしても、これが妥当と考えます。あとは、個人責任で行ってもらいます。野球なので、好きな人が自腹で行けばいいと考える人もいるかもしれませんが、他県との交流目的でありますので、県技師会が負担してもいいと考えます。岐阜の要望としては、持ち回りで毎年開催したいと思っているようです。今回参加し

てみて様子を見たいと思います。常任理事会でも、費用は問題となりました。東部から岐阜に行こうとするとだいぶ遠出になってしまいます。愛甲さんから案が出ています。東中西から一台ずつ車を出して行こうとしています。その費用は負担します。食事に関しては、弁当代を出します。傷害保険に関しても、イベント保険がありますのでこれを利用しようと思います。一日200円となります。車三台で行くとしてトータルの費用として50,000～70,000円となる予定です。みなさまの会費を使用しますが、他県との交流という意味で、今年度はこれで行きたいと思います。みなさまのご意見を頂戴したいと思います。道具に関しては、自分たちでやってもらいます。宿泊に関しても岐阜県が確保していただいています。できれば宿泊してもらって学会に参加してもらいたいです。

常任理事会では、この辺までは話は通っていますが、理事会での意見を頂きたいと思います。現在の参加状況ですが、東部から2名、中部4名、西部2～4名程度です。

東部組織：大倉理事

21日の幹事会で幹事さんをお願いしました。月曜日に幹事に配信させていただいて、参加者を募ろうかと思っています。あまり感触がよくなかったです。多分幹事さんが文科系出身が多かったのではないかと思います。ただ病院に戻って参加される方もいらっしゃると思いますので、幹事宛に配信しようと思っています。来週中にお返事させていただいてかまいませんか？

山本会長：

できれば学会がらみでお願いします。メールの中でも話題になって、和田顧問からの過去の意見も聞いて参加者も集まらなくなったり、費用の面とかのありますので。

和田顧問：

以前からその話は、愛知県なり東海四県、もっと先に行くと石川県の小松ドームでやらないかと話もきました。その頃いろいろ調べますと愛知県の場合は、20万くらい技師会から捻出しています。そういう話があって静岡もどうですか？と話がありました。公益法人になってなくても、社団法人という形でも、それだけのお金がかかるなら県民のための事業に使いたいと考え方と、行っていたく方の負担や怪我になった場合、傷害保険で何とかありますが職場に迷惑がかかった場合は、技師会としては責任は取れませんので会長決済でお断りをしていたのが現実です。時代も変わってきましたし、公益法人になりますとそこらへんもシビアになりますし、小額の金額をその他の事業として出せば、それはいいかと思えます。今回の場合、役員を通じて野球やる人いませんかということになると事業としてうたってないんですね。ですので本来であれば、事業であるならば、全会員に広報をして参加者と募る。それを先にやって参加するか検討するのが手順かと思えます。ただCCRTの前の日の兼ね合いで一人でも学会参加者を増やしたいという岐阜の意図がみえみえかと思えます。ここで参加ということになれば、怪我のない様に楽しく行っていただければと思います。

山本会長：

会計のほうは大丈夫ですか？調べていただけました？

会計：栗田理事

管理費の旅費で出せると思えます。

和田顧問：

公益事業でないので、管理費の旅費でしか出せないと思います。

会計：栗田理事

それぐらいの額であれば、大丈夫と税理士さんもお墨付きを頂いています。

山本会長：

何か他にありますか？野球大会に参加して一部負担する提案通りの案件。なるべく抑えながら参加するとします。では決を採ります。

理事会承認の採決します。

反対 0名 保留 0名 賛成16名 全会一致で承認されました。

山本会長：

持ち回りになった場合には、静岡はサッカーにしましょうか。いろいろ考えています。

西部組織：竹田理事

西部地区会は9月の頭に幹事会がありまして、何人集めてというなら集めることはできると思いますが、県としてあまり人数がいると車代がかかってしまいますし、何人くらいが必要でしょうか？

山本会長：

15人くらいですかね。

西部組織：竹田理事

西部は、何人くらい集めればよいですか？5人くらいですか？

山本会長：

5人くらいでいいです。

山本会長：

次は東海四県放射線技師学術大会の件です。高橋さんよろしくお願いします。

西部副会長：高橋副会長

平成30年2月4日アクトシティ コンgressセンターで予定しております。テーマは膵疾患に迫るで行こうと思っています。内容に関しては、下記の通りなのですが、9：30から10分間の会長挨拶の後にセミナーを行います。このセミナーは9：40～10：40の一時間ありますが、膵の画像診断として県立総合病院の大川会員。病理は、県立こども病院の検査技師 坂根潤一先生に頼みました。了承は頂いております。10：50～11：50で特別講演をまだ確定はしていませんのですが、全身DWI BSについて東海大学工学部 医用生体工学部教授 高原太郎先生にお願いしております。了承は得ております。その後、12：00～13：00ランチンセミナー第一三共さんが抗がん剤ではなく薬に関する事をお話していただけるようです。また決まりましたら、ご報告させていただきます。その後10分休憩し、13：10～14：10シンポジウムを予定しております。早期膵腫瘍の画像診断でCT・MRI・US・核医学を各施設に依頼して15分ずつ発表していただいて、シンポジストを募ってやっていこうかなと思っています。座長に関しては、2名用意しようと思っています。静岡県からは医療センターの有谷さんを予定しております。了承はとってあります。静岡県では、CTの部門で磐田市立総合病院の八重樫さんか神谷さんがやっていただけるようです。あとは、愛知県はエコー担当で名鉄病院の今泉技師が了承していただきました。まだ依頼はかけていないのですが、岐阜県には核医学（PETを含む）をお願いしようかなと思っています。三重県にはMRIで依頼をかけようかなと思っています。14：50～15：50に教育講演で膵臓、胆嚢の外科治療ということで、県立総合病院の外科の金本医師に依頼をかけた了承を得ています。時間的には16：00で終了となっています。以上となります。ここでお願いがあります。座長のところなのですが、今まったく決まっていません。先ほど会長と

お話しして他県との交流が必要と考えますので、依頼をしていく必要があると考えます。現在5つ座長が空白になっております。セミナーは静岡県が担当し、一番最後の教育講演も静岡県がやらしていただいて、他の特別講演、ランチン、シンポジウムを他県の方々に依頼をかけようかなと思っています。それに関してご意見がありましたら、お寄せいただけたらありがたいのですが。

和田顧問：

教育講演は、一般の住民の公開講演の案内はするのですか？したほうが公益性が高いのですが。ただ時間が一時間しかないので、どうかなと思います。

西部副会長：高橋副会長

去年行われたときにはクローズで行われました。そういう形は取れるのでしょうか？

和田顧問：

膵疾患は、ほとんどはアドバンテージが高い状態で見つかりますので、シンポジウムの早期膵腫瘍という題目でどこまでできるのか疑問です。先輩なんか膵で亡くなっていますので、県民としてみては、どこまで外科治療でいけるのか聞きたいと思います。だから、そういうのを順番を早めるとか。薬とかの兼ね合いも聞いてもらうのもいいのではないかと思います。各県でいろいろなやり方があると思います。前の年がこういうプログラムだったから、こうしなければならないというのは、ないと思います。静岡は静岡で独自で行ってもいいと思います。今までの流れでいくと特別講演のところは、浜松医大の教授にお願いしていました。今回は、教育講演は県総の金本先生となっています。できれば一般の人が聞いてもいいのではないかなと思っています。来るか来ないのは別問題ですけど、そういうのもいいのではないかなと思います。せっかくの機会ですから。座長は、

各県に振ってもらえばいいです。それは、お互いにやりっこしていますから。

西部副会長：高橋副会長

教育講演の最後の所は、どうしますか？それかランチョンに関しては微妙ですよ。ここは一般公開にはできないですね。お弁当の数の問題もありますので。タイムスケジュール上、これでよければ最後の所は、一般の方にも話すことができるかもしれません。

和田顧問：

そこはやっておいたらどうですか？広報してみたらどうですか？せっかくの機会ですからなかなか弊疾患とかないですから。

西部副会長：高橋副会長

わかりました。前向きに検討していきたいと思います。9月29日に学術委員会がありますので、一回詰めてそういう方向で行きたいと思います。

和田顧問：

最終的に決まって各県に、パンフレットを配布するのであればできれば年内に届くようにしてもらった方がいいと思います。逆に我々がもらうときには二月の初めになりますので、年内に必ず各県が会員に配れるようになるタイムスケジュールを逆算していかないといけないと思います。

西部副会長：高橋副会長

CCRTのときに配布できる状態がよいですか？

和田顧問：

それが一番いいです。

山本会長：

結構早く進んでいますからね。

和田顧問：

早く出来るなら早くやっておいて越したことはないです。

山本会長：

それでは、東海四県学術大会の教育講演を一般公開するかは学術委員会で検討してもらおうとして、大筋の承認を得たいと思います。

理事会承認の採決します。

反対 0名 保留 0名 賛成16名 全会一致で承認されました。

山本会長：

企画申請、報告書の承認についてです。間にあったものを承認していきます。新春公開講演から行きますか。

学術地区会選出：春田理事

新春公開講演です。日にちは1月13日です。昨年行われた静岡商工会議所で同じ会場になります。講演内容は、骨密度で中東遠総合医療センターの整形外科の先生で浦崎先生にお願いしました。教育講演は、医療被曝についてです。今朝メールが来まして三重県の桑名市医療総合センターという所のオオイシヤさんがやってくれるようです。骨密度体験ですが、この日に骨密度の装置をお借りして、一般の方に骨密度体験して頂こうと思っています。受付時間がわかっていないのですが、受付時間が13：30からですので、講演会が終わるのが15：00となっていますので、この時間までに受付していただいた方を測定したいと思います。時間のことでですけど、受付が13：30で、去年が公開講演が14：00～15：00に行いました。休憩15分入れて教育講演となっております。この後にアール祭が控えておりますので、何時までに終わればいいのかお教えてください。ポスターを作りました。カラーはこちらになります。以上となります。

山本会長：

時間はアール祭を考慮しても、この時間でいいと思います。

学術地区会選出：春田理事

測定する人なんですけど、学術委員にも聞いているんですが、足りない場合には出ていただけるようなんですけど。3人くらいでよろしいでしょうか？

山本会長：

ふれあい広場では、わーっときますけど、今回の場合にはそんなに人数が要らないと思います。その担当者がいればいいと思います。広報の仕方が重要ですね。では、新春公開講演の承認を採りたいと思います。

理事会承認の採決します。

反対 0名 保留 0名 賛成16名 全会一致で承認されました。

山本会長：

続きまして、シンポジストの依頼がきてますので、こちらに行きます。

西部副会長：高橋副会長

CCRTのところで、画像再構成の最前線というシンポジウムが行われますが岐阜県の大会長からシンポジストの推薦してくださいと依頼が来ています。CT・MRI・RI・トモシンセシスの分野から選出してくださいとのことです。第一希望分野と第二希望分野の2名書いてくださいとあります。日本放射線技師会と技術学会と二つありますので、浜松医大の澤田さんが技術学会でいらっしゃるので、メールでやりとりしながら一人、がんセンターの中谷先生に推薦の依頼したらいいかと推薦されました。で、ユリクラさんに話してみると言われました。これで一応CTの分野で第一希望分

野で確保できました。第二希望分野まで書いてくれときていますので、もしこの場で、CT・MRI以外特にRI・トモシンセシスで長けている先生をご存知ならお教えてください。よろしく申し上げます。マンモをやっていて、画像再構成トモシンセシスをいろいろ研修されている。もしくは、いろいろ工夫されている先生の発表もいいのかと思っています。他にここの病院のこの人とかもありませんか？あとは、乳腺部会、MRI部会に依頼をかけて推薦をもらうことも可能なのですが、まずこの場で協議してみたくて上げた次第です。

山本会長：

無いようなので部会に投げてください。

西部副会長：高橋副会長

では、部会のほうに投げてみます。ありがとうございました。

山本会長：

東部地区ふれあい広場お願いします。

東部組織：大倉理事

10月21日東部地区ふれあい広場です。骨密度検診と医療被曝相談を行います。放射線検査紹介を日放技からお借りしたパネル展示をします。予算は、助成金がいくら出るかわからなかったものですから書いていません。日放技からの助成金は当てにしております。去年の支出は、90,000円ほどでしたが骨密度装置の借用金額を削って、昨年よりも10,000円少ない80,000円前後で実施したいと思います。承認のほうよろしく申し上げます。

山本会長：

骨密度の機械はそんなにかかりましたか？

東部組織：大倉理事

前は64,000円位です。高かったので他のメー

カーに当たっています。

山本会長：

他の地区でも借りてますよね？

西部組織：竹田理事

骨密度測定装置借用費および装置消耗品と往復輸送費込みで42,336円です。

東部組織：大倉理事

東部地区は、オリックスというところで借りていたのですが、2,3年前から貸してくれなくなってしまいました。今年は日立関係で何とか安く借りれないかどうか交渉中です。予算として昨年のレンタル費を乗せてあります。

西部組織：竹田理事

助成金の書き方ですけど、ここは0にして、差引をマイナスで書いたほうがいいですか？

山本会長：

日放技から貰えるのは、別というか、去年は10万円位もらえました。けど、イベント期間の補助金は去年は全体で30万でしたが、今年は80万にしたそうです。80万円を8地区で分けるそうです。中日本は10万円だそうです。10万を分けるそうです。各県に聞いたところ、今現在中日本で名古屋と岐阜が回答していませんが、他のところは申請しないそうです。運がよければ、静岡に10万円がそのままもらえます。骨密度装置のレンタル代位にはなりそうです。それ以外のところは、県からの負担があって、最終的には差引が0になる予定です。東部地区のふれあい広場の承認を得たいと思います。

理事会承認の採決します。

反対 0名 保留 0名 賛成16名 全会一致で承認されました。

次は中部の第一回胃がん検診X線撮影従事者講習会です。

中部組織：樽松理事

9月30日に静岡赤十字病院で第一回放射線セミナー・第一回胃がん検診X線撮影従事者講習会を行いました。第一回放射線セミナーは、消化管のMRI～肝胆膵を含めて～を済生会病院の山崎会員が発表しました。第一回胃がん検診X線撮影従事者講習会は、恒例となっております静岡赤十字病院の川田先生の胃がん死亡を減らすためのロードマップ ～胃がんは予防の時代へ～を発表しました。予算は10万円で内訳として講演料33,411円、役員交通費・日当17,500円、会議費37,000円、その他雑費として12,089円で支出が10万円とし予算を10万円としました。よろしくお願ひします。

山本会長：

ご質問はありませんか？では、第一回放射線セミナー・第一回胃がん検診X線撮影従事者講習会の採決を取りたいと思います。

理事会承認の採決します。

反対 0名 保留 0名 賛成16名 全会一致で承認されました。

山本会長：

続きまして西部地区です。企画申請です。

西部組織：竹田理事

西部地区のふれあい広場ですが、去年も行ったのですが、可美公園まつりの中で行います。資料提出時には可美公園祭りの日程がまだ予定だったのですが、今日責任者の方とお会いしまして日程が11月26日で確定しましたので、今回申請させていただきます。昨年と基本的には同じです。助成金は0にしていただいて、差引を-88,984円にしてください。東部に比べて人数が200人オーバーで

すので、対応する人数を増やしていこうと思いきまして、役員日当交通費が30,000円となっております。エコバックとかもらえるのでしょうか？あればあると好評なんです。ほかにもあればあるとやったやらないの区別がつかますのでこちらとしても便利です。

山本会長：

事務所にあまっていますか？あと放射線技師への冊子もあまっていましたよね？エコバックは、日放技に申請しておきます。西部地区のふれあい広場の採決をとりたいと思います。

理事会承認の採決します。

反対 0名 保留 0名 賛成16名 全会一致で承認されました。

山本会長：

その他に行きますご意見を頂きたいです。柔道整復師法の一部を改正する法律案が4日前に日放技からメールが来まして、臨時理事会となったわけです。反対の表決を取って表明しますとなりました。柔道整復師法の一部改正される法案が出されました。びっくりしてしまいました。6月ぐらいに出されていました。議員がいるところは出しやすいのかもしれませんが。日放技でも気づかなかったようです。詳細は私のほうではわかりませんが。こういった流れになっているようです。内容としては、柔道整復師が骨折等の疑われる場合には、レントゲンをその場で撮影してもよいということです。医師、歯科医師の指示の元で撮影しなくてもいいような記述になっています。

中部組織：樽松理事

そこが問題ですよ。

山本会長：

応急手当を掌握する場合には、その患部に一定の条件のもとに、撮影のためのエックス線の照射をすることができるようにする必要があります。これがこの法案を提出する理由であると書かれています。

中部組織：樽松理事

私たちは、保助看法をもとに医師、歯科医師の指示で撮影していますが、これを見ると自分の判断で勝手に照射が行われるということですよね。

山本会長：

そういうことです。今回は、反対表明決議が取ればよいのですが、反対の理由も明記しなくてはならないのですが、診療放射線技師法もあり、放射線を出してもいいのは、医師、歯科医師、診療放射線技師だけであるのに、その改訂もないというぐはぐな状態です。放射線の知識も十分な教育もなされないと考えます。

和田顧問：

参議院の国会で、藤巻健史議員から提出されたのですが、彼は維新の会の東京部会長で日本維新の会のかなり上の役員をやっているようです。参議院で6月にを出しています。8月21日から来週の30日まで表決期間といって参議議員の表決（yesかNoか）の期間がもうけられていて、最終的に30日が議決日となっております。なおかつ衆議院に予備審査6月18日に入っています。日本放射線技師会の理事だけが反対を出してもあまりにも薄っぺらいです。これがおかしいのは、医師の具体的な指示の無いままに、骨折・脱臼の有無で撮影が出来る。病院にも登録できる。これは断固反対しなければならないのですが、各都道府県がそういう形の反対署名運動をやらないと衆議院で通ってしまいますよ。藤巻さんって他の議案を医療関係なく出しています。都道府県として会員向

けに広報して、断固反対する署名運動を早急に展開して、反対署名と一緒に出すのが効果的ではないかと思えます。これをしないと柔道整復師会の協議会を見てみると、自由民主党関係の結構上の方のえらい先生方がいろんな形に入っているのですぐ通ってしまいます。今後波及的な効果で、たとえば歯科衛生士のデンタル撮影やパントモ撮影なんかも通ってしまいます。そういうことを考えるとのんびり出来なくて、展開運動をどうするのかなあと。中日本の理事としてちょっと探りを入れて、断固反対する運動をしないと次のことが起きますよ。もう少し先に行くと柔道整復師がエコー検査もやりたがっています。調べてみますと柔道整復師のレントゲン使用についても昭和45年ぐらいから問題提起して動いています。やっと47年たって出てきたことを考えますと、議員のコネクションを活用して議案提出している可能性があります。日放技が理事だけの反対表明だけ出しても通ってしまいますよ。団体だから、団体の結束力を高めて行ってほしいです。参議院で通ってしまいますと衆議院に行ってしまうですよ。実施日は、平成31年4月1日ですと議案の中でうたっています。期間があるかわかりませんが、会員の署名が一番重いんですよ。よろしくお願ひします。

庶務一般：増田理事

医師会や歯科医師会は、態度はどうなんですか？

山本会長：

わからないです。佐野副会長は、医師会や歯科医師会、看護協会に手を回さないといけないじゃないかと言っていました。

中部組織：樽松理事

整形外科医からは、なにかアクションがありましたか？

山本会長：

ちょっと情報がないのでわかりません。

中部組織：樽松理事

万が一法案が通ってしまっ、医療被曝相談だけがこちらに来るのは、勘弁してほしいですね。

中部副会長：松本副会長

ネット上で整形外科医が反対を表明していました。ちょっと古い情報だったので、今回の法案ではないと思いますが・・・。

山本会長：

詳細がわかり次第、また連絡します。その他ありますか？

東部組織：大倉理事

平成30年の通常総会、学術大会の会場の件についてです。値段について調べました。メイン会場240名収容が朝9：00～17：00で60,400円。臨時理事会は、30人用か90人用かしか選べませんので、90人部屋を押さえますが。

和田顧問：

臨時理事会は、新しい役員と旧役員ですので18名です。

東部組織：大倉理事

では、30人用の小会議室に変更してください。96名部屋ですと19,600円ですので、10,000円前後になると思います。託児所も小会議室ですが、30人も要らないでしょうか？1/2も選べますので、こちらでよいですか？5.6人だったと思いますので、託児所も1/2に変更させてください。仮に全部屋使用しても4,400円なので、3,000円くらいになると思います。概算で会場使用料が70,000円前後になると思います。今後の動きとしては、承認されれば見積もりを請求しまして、会議室を

まとめた見積もりと請求書を早急に理事会に提出させていただきでよろしいですか？マイク代、プロジェクター使用料は、別途発生するものは次年度の予算でよろしいでしょうか？会場使用料だけ今年度の予算でお願いします。大丈夫でしょうか？

和田顧問：

仮払い制度があるはずなので、前に例があるはずです。それを利用すればよいと思います。

山本会長：

先に会場を押さえるということで、お金を払うということで承認でよろしいでしょうか？

理事会承認の採決します。

反対 0名 保留 0名 賛成16名 全会一致で承認されました。

東部組織：大倉理事

早速対応させていただきます。

中部副会長：松本副会長

常任理事の割り振りに関して、地区理事の方もいることですし、少しお話しすることは出来ないでしょうか？割り振りもありますので、みなさんがいる状態で話し合ったほうが良いと思います。

山本会長：

昔は中部ですべて理事をやっていたものを、現在は会計と広報をはずしています。

中部組織：樽松理事

理事7名のうち5名が中部が担当しています。昨日施設長会議で、もう少し配分を一人でも二人でも他地区に振り分けていただけないかという意見が出ました。そうすれば、輪番が回ってくるのが14施設で7つの役職があるのでターンオーバー

で、一期ごとに変わるので、ひとつでも減れば負担が軽減されるということです。

山本会長：

そうだと思います。

中部副会長：松本副会長

5名しかいない施設が3施設もありますので、毎年人数の増減もあります。

山本会長：

その施設を輪番に入れるのは、中部地区の采配なので。言っている意味もわかります。負担の部分では。他の県だと、静岡県は広い割には東部・中部・西部の3地区でしか区切っていません。岐阜でも5地区に分けていたりしています。地区の再編も考えなければいけないかと思っています。技師の会員の人数の割合で考えると、西部が多いから西部に常任を一人増やすという考えですね。負担が減ったときに、二年で総とっかえというのも各地区で考えていただきたい。今までは、すべて新規役員になったとしても会長がすべて把握しているからよかったです。だんだん会長が替わっていくと把握できなくなってしまいます。常任ががっちり固まっていないと困ります。地区の中でも、ずらしてやるとか、4年でやるとかの考慮も必要になってきていると思います。ざっくばらんにご意見を頂戴したいです。

庶務一般：増田理事

地区でいろいろ話をされて、一年交代とかずらしてやるとかありましたが、これが実現したら選挙を毎年やらなくていいならないということになりますか？

山本会長：

一年交代ではなく、四年の任期にして交代という考えです。半分替わると二年ごとになりますか

ら。

和田顧問：

これは前も話があって、お互いに難しい部分があり確かに任期を四年ぐらいやっていただけたら、ある程度輪番制の周りが遅いかなと思います。これに関しては、議論はかなり時間が必要となります。受ける側もなかなか大変ですので、東部と西部を一人ずつ出した時もかなり時間を要してやりました。けど、来年のことなのでどうすればよくなると思います。お互いに中部なら中部の中の輪番制の問題の見直しをするのか？あるいは、技師会は技師会の中の役割の程度。役割では濃いとこと薄いところがあります。人数を変えてしまうと定款の改正になりますので、総会で2/3以上の賛成を得なければならないという大きな問題となります。いろいろ総合して考えなければならないので、安易に変更することは難しいです。時間をかけてやってください。

山本会長：

わかりました。皆さんも考えてください。

庶務一般：増田理事

昔は四年やっていましたよね？

和田顧問：

中部の中で、二年任期で同じ職場で同じ人が同じ役職について四年に見えているだけです。

西部副会長：高橋副会長

昔の認識だと二期です。私は六年やって途中で同じ職場の人間におろしました。それまでは、四年のうちの二年づつで替わって申し送りしながら次に渡すという感じでした。今みたいに全部が替わって、わからないというのはなかったです。

総務：川守理事

それはなんで変わったのですか？

西部副会長：高橋副会長

それはわかりません。

総務：川守理事

二期だと長いから、頼みにくいがあるかもしれませんね。

西部副会長：高橋副会長

個人的には勉強になったので。普段わからないところとかいっぱいありましたし。これは一回みなさんやってもらったほうがいいのかと考えています。中部地区会所属で、特に市内にいる方の負担が大きすぎて引いてしまっているのはよくわかります。編集とか非常に大変ですし、ここにきて毎回毎回夜遅くまでやっているのを見ているので。逆に東部とか西部とかが編集するとなると、毎回来れるかとなると距離的な問題、クラウド上で出来てしまう問題ならいいんですけど。会員管理とかある程度クラウドで出来るものや石川さんと連絡を取りながら出来るものなら出来るとは思いますが。ここでやらなくてはいけないものは、どうしても中部の方々をお願いしないと厳しいかなと。

中部組織：樽松理事

今出たのですが、昨日の話し合いの中では具体名は出ていないのですが、個人的に伺っているのは、会員管理はこの場所でやらなくても成立しますので、会員管理だけでも他地区でもってもらうことはできないでしょうか？

西部副会長：高橋副会長

それは具体的な案として大変よいと思います。多分いけると思います。

中部組織：樽松理事

PCが得意な方であれば、遠隔地でもできるとご意見ももらっています。役員の割り振りの見直しを中部地区会の意見として、提案させていただいたと。

中部副会長：松本副会長

中部地区会の輪番は、来年度は決まっていますので、次次年度の話になります。役員7名の内5名が中部地区から選出なので、慎重に意見を聞いておかないと思います。

西部組織：竹田理事

個人的な意見を言わせていただくと、会員数に応じた役員の数を出すというのが公平かと思えます。いろんな事情がありますので。西部地区からだ、ここでやるのがネックになりまして。西部はブロック幹事というのを設定しています。すごい仕事の薄いところがありますので、そこに割り振れば良いと思います。もう一人出すとなると会計は別にだすならば、大変かもしれませんが可能ではないかと個人的には考えます。

中部副会長：松本副会長

たまにジャーナルの発送時に、ここに来ますけど大変な思いをしてやっていると思います。昨日も総務庶務もけっこう遅い時間までやっていましたし。そういうこともありますので、何とかしたいと思っています。

西部組織：竹田理事

来期も総替えですか？

山本会長：

来期も総替えです。ある意味すごいです。総替えしてなんとか出来ているので。

西部組織：竹田理事

学術と地区は2期やっています。ここに情報が集まれば良いと思います。2期やりますので。前の時は、そうじゃないですよ。残るところもありましたし。会長と顧問と残る人が情報をもっていけばいいかと思えます。今回の2年と前の2年じゃかなり違うので面白いです。かなり違うと思えます。会長が替わったのもあるかもしれません。

山本会長：

2年で総替えでも現在のところうまく行っているので、よいと思えます。が、一気に替わるのは寂しいというか、そういう気もあります。副会長が何期もやってもらうのも、いいかもしれませんね。後任を探すのも大変ですし、そんなにころころ替わるのは、他県ではないので。私は、出来る限り常任理事が半分ずつ替わるのが理想ですね。樽松さんも後世に残る仕組みを作ってください。

総務庶務：海野理事

次期なら、中部地区以外がやめなければ、半分は残るのは可能です。

中部組織：樽松理事

こういう話が出たという認識をもっててください。

山本会長：

この話は、常任理事会でも引き続き検討していきたいと思えます。地区でもこの話をしてください。どのみち役員選挙もありますので。みなさんも頭に入れていってください。

東部組織：大倉理事

技師長会を開いて、次年度の役員選挙もやりたいのですが、選挙のたたき台というのは、県技師会でお持ちでしょうか？実は委員を選別するのですが、前任者との引継ぎはおこなっていますが一

部、西部・中部・東部で来年度でどうなるのかわからないものがありましたので、県技師会での窓口はどなたでしょうか？来年度の委員を替えるのか？前任者の覚書があるので、替えるのは理解していますが具体的にどれを替えるのかがよくわかりません。例で言いますと部会の委員から、東部地区会に来年やめたいと直接連絡がありました。これはどうすればいいのでしょうか？

山本会長：

部会は、部会長に言えばいいです。部会で考えてもらって、地区会で任命すればいいです。

東部組織：大倉理事

その話をする前に、何も情報が無いものですか。その話をふる窓口はどこにありますか？

西部副会長：高橋副会長

部会に関しては、部会長がすべてなので、任せてよいと思います。

東部組織：大倉理事

県の役員に関しては、東部は企画とかがあるのですが？

山本会長：

企画は東部でまっています。

東部組織：大倉理事

でしたら、その他の部分は、回ってくるのですか？

西部副会長：高橋副会長

それは無いです。先ほど、中部で話があったように会員管理はそろそろ厳しいと話がありましたら今は中部で固定です。

東部組織：大倉理事

替わるとしたら、東部地区で今担当している部署に関して替えるでよろしいですか？

山本会長：

選挙管理委員が替わります。選挙管理委員は2人です。

中部組織：樽松理事

選挙管理委員は、各地区で出しています。

東部副会長：大須賀副会長

たしか、3ブロックの中で2つです。やらないブロックも出てきます。監事もそうですね？

山本会長：

そうです。

東部副会長：大須賀副会長

監事も2ブロックだから3ブロックありますので、やらないブロックも出てきます。そういうところの持ち回りを決めているということですよ。その2つだけですね。

東部組織：大倉理事

その辺を教えてください。

東部副会長：大須賀副会長

その2つだけじゃなかったかなあ？

東部組織：大倉理事

技師長会を開催するにあたって、私がまったく理解していないので。データもないので、流れもよくわかっていません。逆に質問されても何もわかりません。そういった関係で、県技師会でそういう情報がありますでしょうか？決めれば、東部で決めるのですが、今回みたいに中部・西部で対応していたものが東部に回ってくるものについて

一切わかりません。決めなきゃいけないものがありましたら、指示していただければ、技師長会で決めればいいと思います。

山本会長：

県技師会で指示しますので、よろしく願います。

東部組織：大倉理事

指示がありましたら、指示通りに決めますのでよろしく願います。窓口はどこになりますか？

和田顧問：

それは、総務庶務がやっていました。

東部組織：大倉理事

よろしく願います。

山本会長：

総務と総務庶務と庶務一般で協力して願います。

総務：川守理事

やっている人の名前はいただくのですが、その方が東部なのか中部なのか西部なのかさっぱりわかりません。

総務庶務：海野理事

一度みなさんに聞いて整理します。それはいつまでに行えばよろしいですか？

東部組織：大倉理事

後任の施設から、急げと催促されてますので。

総務庶務：海野理事

いちから作り直すので、いつまでかの期限を決めていただければ。

東部組織：大倉理事

遅くとも10月末までにやっていただければ。

総務庶務：海野理事

わかりました。明文化しましょう。過去を調べるしかないですね。

広報：愛甲理事

秋期公開講演なのですが、県対がん協会とのコラボして人を集めたいとやってきました。県の人と話したら県が後援になるのではなく、共催となるようです。県からお金を出してもらうのはいいのですが、名前のほうですが、対がん協会は静岡県放射線技師会の名前が前にくることで、話がついています。が、県が出てくると県を先にしなくてはいけないかなと思っています。それについては、お茶をにごしておきました。県から言われたらお金をだしてもらいますのでそうします。

山本会長：

他に無ければ、これで第2回理事会を終了したいと思います。みなさまお疲れ様でした。

議長の閉幕の挨拶により平成29年度 第2回理事会が16：50に終了しました。

議事録作成者 海野 泰宏

行事予定カレンダー (平成29年12月～平成30年3月)

12 月		1 月		2 月		3 月	
1	金	1	月 元日	1	木	1	木
2	土 第3回 理事会	2	火	2	金	2	金
3	日 第4回業務拡大に伴う統一講習会(静岡市立病院)	3	水	3	土	3	土 西部地区総会 第3回放射線セミナー(西部) 第2回胃がん検診従事者講習会(西部) 中部地区総会 第2回放射線セミナー(中部) 第2回胃がん検診従事者講習会(中部) 東部地区総会
4	月	4	木	4	日 東海四県放射線技師学術大会(静岡)	4	日
5	火	5	金	5	月	5	月
6	水	6	土	6	火	6	火 しずおかジャーナル編集委員会(二校)
7	木	7	日	7	水	7	水
8	金	8	月 成人の日	8	木 第20回常任理事会(事務所)	8	木
9	土 第16回静岡県マンモグラフィ撮影技術講習会(聖隷三方原) 第11回医療安全セミナー	9	火	9	金	9	金 しずおかジャーナル編集委員会(最終確認)
10	日 第4回業務拡大に伴う統一講習会(静岡市立病院)	10	水	10	土	10	土
11	月	11	木 第18回常任理事会(事務所)	11	日 建国記念日 第3回静岡県デジタルマンモグラフィ講習会(中東遠)	11	日
12	火	12	金	12	月	12	月
13	水	13	土 新春公開講演会(第26回アール祭)	13	火	13	火
14	木 第16回常任理事会(事務所)	14	日	14	水	14	水
15	金	15	月	15	木	15	木
16	土	16	火	16	金	16	金
17	日	17	水	17	土	17	土 3会合同研修会(第49回アンギオ部会研修会・第8回静岡県MRI技術研究会・平成29年度 静岡県放射線技師研修会)
18	月	18	木	18	日	18	日
19	火	19	金	19	月	19	月
20	水	20	土 第34回放射線技師のためのセミナー	20	火 しずおかジャーナル編集委員会(初校)	20	火
21	木 第5回業務拡大に伴う統一講習会(順天堂静岡病院)	21	日	21	水	21	水 春分の日
22	金	22	月	22	木 第21回常任理事会(Web会議)	22	木
23	土 天皇誕生日	23	火	23	金 第4回 理事会(18:00～)	23	金 しずおかジャーナル Vol.27 No.3 発行
24	日	24	水	24	土 第72回 超音波部会合同研修会	24	土
25	月	25	木 第19回常任理事会(Web会議)	25	日	25	日
26	火	26	金	26	月	26	月
27	水	27	土 第2回 放射線セミナー(東部) 第2回胃がん検診従事者講習会(東部)	27	火	27	火
28	木 第17回常任理事会(Web会議)	28	日 第5回業務拡大に伴う統一講習会(順天堂静岡病院)	28	水	28	水
29	金	29	月			29	木
30	土	30	火			30	金
31	日	31	水			31	土

* 都合により変更になる場合があります。県技師会・各地区会の広報誌もしくは静岡県技師会ホームページにてご確認ください。
 * 日放技主催の生涯学習セミナー・ADセミナー等は、JARTまたはNetwork Nowをご下さい。

編集後記

- *この10月は雨ばかりでしたね。ずっと秋雨前線がかかり、週末になると台風。台風21号では由比などの海沿いではかなりの被害も出たようです。通勤で行き来される方々のご苦労されたことと思います。そんな中でも事務所に集まり編集委員会。なんとかジャーナルをお届けできそうです。(山本)
- *ジャーナル編集業務に携わりだして約1年半になり、少しずつ慣れてきました。といっても文章の添削や校正は難しいな～。(増田)
- *前回の編集委員会で初めて知ったのですが、編集委員の三輪さんは、なんと30年近く編集委員を務めているとの話がでてビックリしました。長続きしない性格の私にはとても無理。目立たないけど地道に会務を行っている三輪さんはすごい方だなと改めて感じました。(市川)
- *昨今の宅配業界の料金値上げにより、ジャーナル発送の経費も上がるとのことです。個人で受け取りを希望される方もいらっしゃると思いますが、なるべく施設ごとでまとめて発送する方針となりました。ご理解のほど、よろしくお願いします。(杉山)
- *最近、人生の試練が回ってきました。二日の間に叔父、叔母が亡くなり、自分の母が入院しました。頑張っけて乗り切るつもりですが、この忙しさは今までに経験したことがありませんでした。でも頑張っけていきます。(三輪)
- *健診で初めて便潜血検査が陽性になってしまいました(泣)。これから消化器内科を受診し、CFの予約を取ります。次号のジャーナル編集後記では体験談を報告します。お楽しみに。(蒔田)

会誌「しずおかジャーナル」Vol.27 No.2 2017 平成29年11月24日発行

発行所 : 〒420-0064 静岡市葵区本通1丁目3-5 フェリス本通り202
公益社団法人 静岡県放射線技師会

発行人 : 山本英雄

編集者 : 山本智久

印刷所 : 松本印刷株式会社 〒420-0054 静岡市葵区南安倍1丁目1番18号
TEL(054)255-4862 FAX(054)253-2309

事務所案内

執務時間 : 月曜日～金曜日 午前10時より午後1時まで TEL(054)251-5954
執務時間外は留守番電話にてお受けいたします。 FAX(054)251-9690

URL <http://shizuhogi.jp>

E-mail address : shizuhogi@ac.auone-net.jp